

公益社団法人東洋療法学校協会編教科書
2025年度 再版修正一覧表

『医療概論』 (p.1~3)

(中川 米造 監修)

第1版第37刷(2024年1月)から第1版第38刷(2025年1月)への修正

『衛生学・公衆衛生学』 (p.4~21)

(浜崎 景・姫野 誠一郎・出嶋 靖志・笹澤 吉明 著)

第2版第20刷(2024年1月)から第2版第21刷(2025年1月)への修正

『関係法規』 (p.22~23)

(前田 和彦 著)

第7版第16刷(2024年4月)から第7版第17刷(2025年1月)への修正

『解剖学』 (p.24)

(河野 邦雄 他著)

第2版第19刷(2024年1月)から第2版第20刷(2025年1月)への修正

『生理学』 (p.24)

(内田 さえ・原田 玲子 他著)

第3版第11刷(2024年1月)から第3版第12刷(2025年1月)への修正

『解剖生理』 (p.25~41)

(内田 さえ・鍵谷 方子・原田 晃・原田 彰宏 著)

第1版第1刷(2022年3月)から第1版第2刷(2025年1月)への修正

『臨床医学総論』 (p.42~43)

(奈良 信雄 著)

第2版第16刷(2024年1月)から第2版第17刷(2025年1月)への修正

『臨床医学各論』 (p.44~47)

(奈良 信雄・佐藤 千史・三宅 修司・西元 慶治・山口 武兼・三高 千恵子 著)

第2版第21刷(2024年1月)から第2版第22刷(2025年1月)への修正

2025年4月
医歯薬出版株式会社

『医療概論』

頁	行	項目	第1版第37刷(2024年1月) 該当箇所	第1版第38刷(2025年1月) 修正	
76	下から10	a. 感染症から生活習慣病へ	… <u>2022</u> 年の死亡率は <u>12.9</u> となり、死因順位は、 <u>2022</u> 年には…	… <u>2023</u> 年の死亡率は <u>13.0</u> となり、死因順位は、 <u>2023</u> 年には…	
	下から5		…1970年には13.1、 <u>2022</u> 年には1.8まで下降	…1970年には13.1、 <u>2023</u> 年には1.8まで下降	
86	表	届出・就業医療関係者数と率	下表に差し替え		
			届出・就業医療関係者数と率(人口10万対) 令和4年(’22)12月31日現在		
				実数(人)	率(人口10万対)
			医師	343,275	274.7
			歯科医師	105,267	84.2
薬剤師	323,690	259.1			
保健師	60,299	48.3			
助産師	38,063	30.5			
看護師	1,311,687	1,049.8			
准看護師	254,329	203.5			
歯科衛生士	145,183	116.2			
歯科技工士	32,942	26.4			
あん摩マッサージ指圧師	121,565	97.3			
はり師	134,218	107.4			
きゅう師	132,205	105.8			
柔道整復師	78,827	63.1			
資料 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」『衛生行政報告例』 注 医師・歯科医師・薬剤師は届出数、それ以外は就業者数である。 出典：厚生統計協会：国民衛生の動向2024/2025. p.186, 2024年.					
1~2	A) 医療従事者	国の医師の届け出数は <u>2020</u> 年末では、 <u>339,623</u> 人で、人口10万対の医師数は <u>269.2</u> 人である。医師の <u>95.3%</u> は医療施設に従事している。	国の医師の届け出数は <u>2022</u> 年末では、 <u>343,275</u> 人で、人口10万対の医師数は <u>274.7</u> 人である。医師の <u>94.5%</u> は医療施設に従事している。		
		…これらのうち、 <u>6割</u> が病院、 <u>2割</u> が診療所で就業している。…	…これらのうち、 <u>67.8%</u> が病院、 <u>13.7%</u> が診療所で就業している。…		
		加し、 <u>2020</u> 年においては、 <u>37,940</u> 人になっている。…	加し、 <u>2022</u> 年においては、 <u>38,063</u> 人になっている。…		
		…そこへの従事者が <u>5.7%</u> に対して、病院や診療所勤務者が <u>85.0%</u> である。	…そこへの従事者が <u>6.4%</u> に対して、病院や診療所勤務者が <u>83.7%</u> である。		
下から4~1		下から4行目~1行目を以下の文章に差し替え 歯科医師は、近年では減少傾向にあり、2022年には2020年より2,176人減少の105,267人、人口10万対で84.2人(医療施設従事者で81.6人)が就業している。歯科医師の特徴は、歯科医師のほとんど(96.8%)が医療施設に従事しており、このうち病院従事者が11.8%で、診療所の従事者が85.7%となっていること、また地方自治体への分布が偏っていることである(10万対の歯科医師数では、最大の東京都116.1人と、最低の滋賀県57.3人では2倍以上の開きがある)。			

87	7~9	B) 医療施設	わが国における病院と一般および歯科診療所の総数は、 <u>2021</u> 年において <u>180,396</u> 施設であり、病床数は <u>1,583,783</u> 床である。そのうち病院は、 <u>8,205</u> 施設で、一般診療所は <u>104,292</u> 施設である。	わが国における病院と一般および歯科診療所の総数は、 <u>2022</u> 年において <u>181,093</u> 施設であり、病床数は <u>1,573,451</u> 床である。そのうち病院は、 <u>8,156</u> 施設で、一般診療所は <u>105,182</u> 施設である。
	16~19		<u>2020</u> 年末での助産所数は <u>2,523</u> であり、この助産所に就業届けを出している助産師は <u>2,281</u> 人である。…(中略)…しかし、分娩のできる助産所は減少し、 <u>2020</u> 年末では、 <u>343</u> まで減少しており、助産所での分娩数(出生数)も減少し続けており、 <u>2010</u> 年代の	<u>2022</u> 年末での助産所数は <u>2,870</u> であり、この助産所に就業届けを出している助産師は <u>2,445</u> 人である。…(中略)…しかし、分娩のできる助産所は減少し、 <u>2022</u> 年末では、 <u>338</u> まで減少しており、助産所での分娩数(出生数)も減少し続けており、 <u>2020</u> 年代の
88	下から 3~1	B) 国民医療費の変遷および内訳	<u>2020</u> 年度には、 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受診控え等により、前年度に比べ1兆4,230億円減少し、42兆9,665億円になった。 この <u>2020</u> 年度の国民医療費での国民一人あたりの医療費は <u>34万600</u> 円で、国民医療費の国内総生産に対する割合は <u>8.02</u>	<u>2021</u> 年度には、前年度に比べ <u>2兆694億9400万円</u> 増加し、 <u>45兆359億9400万円</u> になった。この <u>2021</u> 年度の国民医療費での国民一人あたりの医療費は <u>35万8,800</u> 円で、国民医療費の国内総生産に対する割合は <u>8.18</u>
89	3~6		<u>2019</u> 年度のそれをみると、大きな比率を占めている順に、医療保険と労災補償等が含まれる「医療保険等給付分」 <u>45.1%</u> 、老人保健法による「後期高齢者医療給付分」 <u>35.6%</u> 、患者の一部負担等の「患者負担分」 <u>12.3%</u> 、生活保護法などの法律および予算措置による(公的医療負担の項参照)「公費負担医療給付分」 <u>7.3%</u> である。…	<u>2021</u> 年度のそれをみると、大きな比率を占めている順に、医療保険と労災補償等が含まれる「医療保険等給付分」 <u>45.7%</u> 、老人保健法による「後期高齢者医療給付分」 <u>34.9%</u> 、患者の一部負担等の「患者負担分」 <u>12.1%</u> 、生活保護法などの法律および予算措置による(公的医療負担の項参照)「公費負担医療給付分」 <u>7.4%</u> である。…
89	10~12		… <u>2020</u> 年度の医科診療医療費を主傷病による疾病分類別にみると、医療費の多い順に「循環器系の疾患」(<u>19.5%</u>)、「新生物」(<u>15.2%</u>)となっている。年齢階級別医療費でみると、医科診療医療費総数の <u>64.2%</u> 以上が…	… <u>2021</u> 年度の医科診療医療費を主傷病による疾病分類別にみると、医療費の多い順に「循環器系の疾患」(<u>18.9%</u>)、「新生物」(<u>14.9%</u>)となっている。年齢階級別医療費でみると、医科診療医療費総数の <u>63%</u> 以上が…
90	16~17	C) 国民医療費の増大とそれに関する問題	<u>2023</u> 年 <u>4</u> 月現在、 <u>1,761</u> 病院になり、その病床数は <u>48万床</u> に なり、全 一般病床数の約 <u>54%</u> になっている。このことから、…	<u>2024</u> 年 <u>6</u> 月現在、 <u>1,786</u> 病院になり、その病床数は <u>48万床</u> になっている。このことから、…

91	下から 15～13	3) 医療保険のしくみ	…それぞれの医療保険適用者数(2020年度末)は、被用者保険が7,778万人(全体の62.4%)、国民健康保険が2,890万人(全体の23.2%)、後期高齢者医療制度が1,806万人(全体の14.5%)であり、…	…それぞれの医療保険適用者数(2021年度末)は、被用者保険が7,747万人(全体の62.5%)、国民健康保険が2,805万人(全体の22.6%)、後期高齢者医療制度が1,843万人(全体の14.9%)であり、…
	下から 2～1	A) 被用者保険(職域保険)	これらの被用者保険適用者の構成比(2020年度末)は、協会けんぽ51.8%、組合健保36.9%、共済組合11.2%、…	これらの被用者保険適用者の構成比(2021年度末)は、協会けんぽ52.0%、組合健保36.6%、共済組合11.2%、…
92	下から 15～13	B) 国民健康保険(地域保険)	2020年度末時点で、国民健康保険の保険者数・被保険者数は、(市町村)国民健康保険では保険者数1,716(市町村)、被保険者数2,507万人であり、国民健康保険組合では保険者数160(組合)、被保険者数266万人となっている。	2021年度末時点で、国民健康保険の保険者数・被保険者数は、(市町村)国民健康保険では保険者数1,716(市町村)、被保険者数2,537万人であり、国民健康保険組合では保険者数162(組合)、被保険者数268万人となっている。
95	13～14	4) 公的医療負担	…2015年から306疾患、 2021 2021年からは338疾患の「難病」への公的医療費助成が行われている。	…2015年から306疾患、2024年4月現在では341疾患の「難病」への公的医療費助成が行われている。

『衛生学・公衆衛生学』

頁	行	項目	第2版第20刷（2024年1月） 該当箇所	第2版第21刷（2025年1月） 修正
2	2～3	1. 衛生学・公衆衛生学とは	…すなわち集団を強く念頭においているといえよう。	すなわち集団を強く念頭において社会科学的アプローチも活用している点が異なるといえよう。
	10	2. 衛生学・公衆衛生学の歴史	…人口の都市集中が加速した。そして、それに続く20世紀後半以降の社	下線部を削除
	下から14～12	1) 衛生学・公衆衛生学の成立とその源流	科学的か非科学的かは別にして、文明の成立以前にも人々は何らかの衛生的行動をとっていたに違いないし、それぞれの文明でもそれぞれに衛生的・公衆衛生的機能をもっていたが、ここでは現代の科学的医療に直接つながる…	下線部を削除
4	下から5～4		見している。このようにコッホやパスツールの功績の背景には、彼ら自身の優れた能力と努力のほかに、科学的方法や技術の発達があったことを忘れてはならない。そして、	下線部を削除
5	下から5～2	2) 日本の衛生学・公衆衛生学の歴史	…始まったといえる。もちろん江戸が当時、世界でも有数の大都市であったことから、衛生・公衆衛生的機能をもっていたことは確かであるが、現在の日本の衛生学・公衆衛生学の意義を理解するうえで、重要なのはやはり明治以降の歴史であろう。ただし、貝原益軒の『養生訓』が…	…始まったといえる。ただし、江戸が当時、世界でも有数の大都市であったことから、衛生・公衆衛生的機能をもっていたことは確かである。貝原益軒の『養生訓』が…
8	1～2		戦後の日本の人口現象は、乳児死亡率の低下や平均寿命の延長など、保健統計上の改善を顕著に示している。…	戦後から現在までに、乳児死亡率の低下や平均寿命の延長など、保健統計上の改善が顕著に示されている。…
	5～6		…（老人保健法の改正による。高齢者医療確保法と略称される）、地域保健法…	下線部を削除

8	9	2) 日本の衛生学・公衆衛生学の歴史	れている。他方、 すでに述べたが 、国際化時代を迎え、…	れている。このような新たな課題に対応し、国民全体の健康増進を目的として、2000年から健康日本21が開始された(表1-3)。約10年ごとに第一次、第二次と進められ、2024年度から第三次が運用されている。適正体重、1日の歩数などについて細かく目標を設定しているのが特徴である。他方、国際化時代を迎え、…
	下から11		下線部を追加	現在でもさまざまな対策が立てられ、 <u>衛生学・公衆衛生学の活動</u> が進行
	下から9~6		下から9行目~下から6行目を削除	
	下から2~1	の観点からとくに重要な事項であるパブリックな活動を概観する。 集団あるいはパブリック をより強く念頭におくのは公衆衛生学であるが、 <u>近代公衆衛</u>	の観点からとくに重要な衛生学・公衆衛生学の活動を概観する。 個人の健康と疾病だけでなく、 <u>集団をより強く念頭におくのが公衆衛生学である。近代公衆衛</u>	
9	14~15	3. 衛生学・公衆衛生学の活動と意義	…WHO憲章に基づいている。なお、WHO憲章の発効した日にちなんで、4月7日は「世界保健デー」となっている。	下線部を削除
	下から7~5		なっている。日本では近年、 <u>少子化や人口の高齢化などの社会の変化による地域住民のニーズの多様化などに対応した地域保健を進めるために、1994年に従来の保健所法を改め、地域保健法に改正したことは、表1-3に示したとおりである。このように時代の</u>	なっている。 日本では近年、 <u>地域包括ケアシステムが進められ、介護と医療のシームレス化、地域保健への多職種の協力体制の確立、地方自治体の積極的な関与が図られている。</u> このように時代の
29	8	(1) 保健所の機構	特別区立が23、合計468か所に保健所を設置している(2023年)。	特別区立が23、合計468か所に保健所を設置している(2024年)。
	下から4		(2023年4月)。	(2024年4月)。
37	下から14	(3) 医療保障	国全体の医療費を国民医療費(2020年度に43.0兆円)という。…	国全体の医療費を国民医療費(2021年度に45.0兆円)という。…
	下から2~1		医療保険の適用人口は、2020年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が4,696万人、給与所得者などの被用者保険本人が4,608万人、その被扶養者が3,171万人である。	医療保険の適用人口は、2021年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が4,648万人、給与所得者などの被用者保険本人が4,632万人、その被扶養者が3,115万人である。

38	6～14	(4) 国民医療費	6 行目～14 行目の下線部を修正	
		<p>2021 年度の国民医療費は <u>45.0</u> 兆円で、前年度比 <u>4.8%</u> の増加であった。国民所得に占める割合は <u>11.1%</u> (2019 年度)、1 人当たり年間医療費は、<u>35.9</u> 万円であった。</p> <p>国民医療費の負担区分別構成割合 (2021 年度) は、<u>医療保険等給付分は 45.7%</u>、後期高齢者医療給付分は <u>34.9%</u>、患者等負担分は <u>12.1%</u> となっている。</p> <p>国民医療費のうち、<u>歯科治療費、薬剤調剤費、入院時食事医療費</u>などは <u>26.1%</u> で、あとの <u>71.9%</u> は医科関係の入院と外来の一般診療費、その他 <u>1.9%</u> である。</p> <p>年齢階級別では、人口の <u>28.9%</u> を占める <u>65 歳以上</u> の人口が国民医療費の <u>60.6%</u> を消費している (<u>2021 年度</u>)。また 1 人当たりの医療費は、…</p>		
45	下から 10		下線部を追加	調査の結果によれば、 <u>男性では 30～60 歳代</u> で…
46	下から 5	1) 食品の意義と食生活	主 <u>菜</u> とは、…	主 <u>食</u> とは、…
49	5		…農林水産省の報告では、 <u>2022 年</u> の食料自給率は <u>38%</u> である。…	…農林水産省の報告では、 <u>2023 年</u> の食料自給率は <u>38%</u> である。…
55	11～12	(1) 栄養素の欠乏または過剰	…目標量では男性 <u>8g</u> 未満、女性 <u>7g</u> 未満が望ましいとされ、…	…目標量では男性 <u>7.5g</u> 未満、女性 <u>6.5g</u> 未満が望ましいとされ、…
	下から 3～1		…達成できていない。 <u>なお</u> 、 <u>2013 年</u> からは <u>2023 年</u> までに… (中略) …推進されている。健康日本 21 (第二次) における…	…達成できていない。 <u>また</u> 、 <u>2013 年</u> からは <u>2023 年</u> までに… (中略) …推進された。健康日本 21 (第二次) における…
56	1	<p>1 行目の次に以下の文章を追加</p> <p>2024 年度から 2035 年度まで、健康日本 21 (第三次) が新たにスタートした。すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開 (Inclusion) と、より実効性を持つ取り組みの推進 (Implementation) に重点をおいている。①健康寿命の延伸と健康格差の縮小、②個人の行動と健康状態の改善、③社会環境の質の向上、④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり、を基本的な方向として、これらに沿った目標を設定し、取り組みを進める (表 3-8)。</p>		
	追加表	表 3-8 として本冊子 19 頁の表を追加		
59	下から 8～7	(1) 指定添加物	…安全性が確認された添加物が、 <u>474 品目</u> 指定されている (<u>2023 年 3 月末</u> 現在)。たとえば…	…安全性が確認された添加物が、 <u>476 品目</u> 指定されている (<u>2024 年 3 月末</u> 現在)。たとえば…
60	3	(2) 指定添加物以外の食品添加物	… <u>2023 年 3 月</u> 現在 <u>357 品目</u> が…	… <u>2024 年 3 月</u> 現在 <u>357 品目</u> が…
63	13～14	5) 食中毒	推移している。 <u>2022 年</u> の食中毒の事件数は <u>962 件</u> 、患者数は <u>6,856 人</u> でうち <u>5 名</u> が亡くなっている (図 3-3、表 3-8)。…	推移している。 <u>2023 年</u> の食中毒の事件数は <u>1,021 件</u> 、患者数は <u>11,803 人</u> でうち <u>4 名</u> が亡くなっている (図 3-3、表 3-10)。…
	16		<u>2022 年</u> の食中毒統計調査によれば、…	<u>2023 年</u> の食中毒統計調査によれば、…
	下から 14～10		下から 14 行目～下から 10 行目を以下の文章に差し替え	
<p>するものが <u>39.1%</u> と最も多く、次いで野菜及びその加工品 <u>5.4%</u>、肉類及びその加工品 <u>4.2%</u> の順であった。病因物質の判明した事件数では、<u>アニサキス</u>が全体の <u>43.2%</u>、次いでカンピロバクターが <u>21.1%</u> を占めている。患者数では <u>ノロウイルス</u>が全体の <u>47.7%</u> を占めている。原因施設別の事件数は、判明したもののうち飲食店が <u>62.5%</u>、次いで家庭が <u>14.3%</u> を占めている。</p>				

67	下から 3～1	(2) ウイルス性食中毒	…注意が必要である。2019年度の病因物質別の食中毒事件のうち、ノロウイルスに起因するものが20.3%を占め、近年の増加傾向が著しかったが、2022年度は6.6%に減少している。	…注意が必要である。2023年度の病因物質別の食中毒事件のうち、ノロウイルスに起因するものが16.3%であった。																										
69	下から 4～3	(5) 寄生虫性食中毒	あげられる。2022年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが59.4%を占めている。	あげられる。2023年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが43.2%を占めている。																										
70	下から 5	7) 遺伝子組替え食品	…2023年3月末現在、333品種の食品と76品目の添	…2024年3月末現在、334品種の食品と83品目の添																										
74	下から 6	2) 運動と健康の保持・増進	下から6行目の次に以下の文章を追加																											
		2024年にスタートした健康日本21(第三次)にあわせて、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」が策定された(図3-4)。座位時間の長い日本人に対する取り組みが強調されている。																												
	追加図	<p>図3-4として下図を追加</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">全体の方向性</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">個人差等を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組み 今よりも少しでも多く身体を動かす</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">身体活動</td> <td></td> <td style="text-align: center;">座位行動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高齢者</td> <td> 歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日40分以上 (1日約6,000歩以上) (=週15メッツ・時以上) </td> <td style="text-align: center;">運動</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;"> 座りっぱなしの時間が 長くなりすぎないように 注意する </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> 有酸素運動・筋力トレーニング・ バランス運動・柔軟運動など 多要素な運動を週3日以上 【筋力トレーニングを週2～3日】 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成人</td> <td> 歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日60分以上 (1日約8,000歩以上) (=週23メッツ・時以上) </td> <td style="text-align: center;">運動</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;"> (立位困難な人も、じつ としていた時間が長く なりすぎないように、 少しでも身体を動かす) </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> 息が弾み汗をかく程度以上の (3メッツ以上の強度の) 運動を週60分以上 (=週4メッツ・時以上) 【筋力トレーニングを週2～3日】 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こども (※身体を動かす時間が少ないこどもが対象)</td> <td colspan="3"> (参考) ・中強度以上(3メッツ以上)の身体活動(主に有酸素性身体活動)を1日60分以上行う ・高強度の有酸素性身体活動や筋肉・骨を強化する身体活動を週3日以上行う ・身体を動かす時間の長短にかかわらず、座りっぱなしの時間を減らす。特に余暇のスクリーンタイムを減らす。 </td> </tr> </table>				全体の方向性		個人差等を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組み 今よりも少しでも多く身体を動かす			身体活動		座位行動	高齢者	歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日40分以上 (1日約6,000歩以上) (=週15メッツ・時以上)	運動	座りっぱなしの時間が 長くなりすぎないように 注意する			有酸素運動・筋力トレーニング・ バランス運動・柔軟運動など 多要素な運動を週3日以上 【筋力トレーニングを週2～3日】	成人	歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日60分以上 (1日約8,000歩以上) (=週23メッツ・時以上)	運動	(立位困難な人も、じつ としていた時間が長く なりすぎないように、 少しでも身体を動かす)			息が弾み汗をかく程度以上の (3メッツ以上の強度の) 運動を週60分以上 (=週4メッツ・時以上) 【筋力トレーニングを週2～3日】	こども (※身体を動かす時間が少ないこどもが対象)	(参考) ・中強度以上(3メッツ以上)の身体活動(主に有酸素性身体活動)を1日60分以上行う ・高強度の有酸素性身体活動や筋肉・骨を強化する身体活動を週3日以上行う ・身体を動かす時間の長短にかかわらず、座りっぱなしの時間を減らす。特に余暇のスクリーンタイムを減らす。	
全体の方向性		個人差等を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組み 今よりも少しでも多く身体を動かす																												
	身体活動		座位行動																											
高齢者	歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日40分以上 (1日約6,000歩以上) (=週15メッツ・時以上)	運動	座りっぱなしの時間が 長くなりすぎないように 注意する																											
		有酸素運動・筋力トレーニング・ バランス運動・柔軟運動など 多要素な運動を週3日以上 【筋力トレーニングを週2～3日】																												
成人	歩行又はそれと同等以上の (3メッツ以上の強度の) 身体活動を1日60分以上 (1日約8,000歩以上) (=週23メッツ・時以上)	運動	(立位困難な人も、じつ としていた時間が長く なりすぎないように、 少しでも身体を動かす)																											
		息が弾み汗をかく程度以上の (3メッツ以上の強度の) 運動を週60分以上 (=週4メッツ・時以上) 【筋力トレーニングを週2～3日】																												
こども (※身体を動かす時間が少ないこどもが対象)	(参考) ・中強度以上(3メッツ以上)の身体活動(主に有酸素性身体活動)を1日60分以上行う ・高強度の有酸素性身体活動や筋肉・骨を強化する身体活動を週3日以上行う ・身体を動かす時間の長短にかかわらず、座りっぱなしの時間を減らす。特に余暇のスクリーンタイムを減らす。																													
<p>図3-4 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023 推奨事項一覧 (国民衛生の動向2024/2025)</p>																														
101	5	(2) 水	97.6% (2011年度厚生労働省調べ) に達している。…	98.3% (2021年度環境省・国土交通省) に達している。																										
	下から 11～10		…このため、微生物処理・オゾン処理・活性炭吸着処理などを併用した高度浄水処理が実用化されている。	…このため、微生物・オゾン・紫外線・活性炭などを併用した高度浄水処理が実用化されている。																										

101	下から7	(2) 水	…普及率)は2018年度末で <u>79.3%</u> である(ただし…	…普及率)は2022年度末で <u>81.0%</u> である(ただし…																				
117	下から5	(2) 水質汚濁	…補償をしている。 <u>2002年12月末現在の認定患者数は186人である。</u>	…補償をしている。 <u>2024年に認定患者の生存数は0となったが、将来の発症がありうる要観察者は存命であり、潜在的な患者がいる可能性は残っている。</u>																				
126	下から4	(4) オゾン層の破壊	した。しかし、すでに環境中に…	し、1990年代後半からオゾン量は <u>わずかな増加傾向がみられる。</u> しかし、すでに環境中に…																				
161	7	1. 母子保健の意義	…その後漸減し、 <u>2022年</u> は <u>1.26</u> に減少している。…	…その後漸減し、 <u>2023年</u> は <u>1.20</u> に減少している。…																				
168	下から1	1) 少子化問題	下から1行目の次に以下の文章を追加																					
		2012年に成立した子ども・子育て支援法など、子ども・子育て関連3法に基づいた制度により、認定こども園の整備、子ども・子育て会議の設置、地域子ども・子育て支援事業の充実が図られた。2020年、少子化社会対策基本法に基づく総合的かつ長期的な少子化に対処する施策の指針として、第4次の少子化社会大綱が閣議決定され、以降、1. 結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくる、2. 多様化する子育て家庭のさまざまなニーズに応える、3. 地域の実情に応じたきめ細かな取り組みを進める、4. 結婚、妊娠・出産、子ども・子育てに温かい社会をつくる、5. 科学技術の成果など新たなリソースを積極的に活用する、という基本的な考えに基づき、少子化対策が進められている。																						
171	下から2	1. 学校保健の意義	…その対象者は <u>2022年</u> 時点で約 <u>2,007万人</u> であり、…	…その対象者は <u>2023年</u> 時点で約 <u>1,985万人</u> であり、…																				
177	下から3	2) 健康診断	…あげられる。 <u>2022年</u> 4月現在の定期健康診断の…	…あげられる。 <u>2023年</u> 4月現在の定期健康診断の…																				
178	表8-2	定期健康診断の検査項目と実施学年	<u>2023年</u> 4月現在																					
			<u>2024年</u> 4月現在 「骨・関節の異常等」を追加(以下参照)																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>検査・診察方法</th> <th>発見される疾病異常</th> <th>幼稚園</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健調査</td> <td>アンケート</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>身長 体重</td> <td></td> <td>低身長等</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>栄養状態</td> <td></td> <td>栄養不良 肥満傾向・貧血等</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>脊柱・胸郭 四肢 骨・関節</td> <td></td> <td>骨・関節の異常等</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	項目	検査・診察方法	発見される疾病異常	幼稚園	保健調査	アンケート		○	身長 体重		低身長等	◎	栄養状態		栄養不良 肥満傾向・貧血等	◎	脊柱・胸郭 四肢 骨・関節		骨・関節の異常等	◎	
項目	検査・診察方法	発見される疾病異常	幼稚園																					
保健調査	アンケート		○																					
身長 体重		低身長等	◎																					
栄養状態		栄養不良 肥満傾向・貧血等	◎																					
脊柱・胸郭 四肢 骨・関節		骨・関節の異常等	◎																					
180	下から1	5. 学校において予防すべき感染症	下線部を追加	…大部分が学校で感染し、 <u>家庭</u> に持ち込まれ、…																				
181	表8-4	学校において予防すべき感染症	本冊子20頁の表に差し替え																					
183	下から4~2	1) 児童生徒の死亡の状況	…心疾患である。 <u>2020年</u> の5~19歳の死亡者数は <u>1,994人</u> であり、医学的対応のみではその予防が十分にできない死因(不慮の事故、自殺)が <u>1,095人</u> とその半数程度を…	…心疾患である。 <u>2023年</u> の5~19歳の死亡者数は <u>2,104人</u> であり、医学的対応のみではその予防が十分にできない死因(不慮の事故、自殺)が <u>1,041人</u> とその半数程度を…																				

191	13～14	1) 悪性新生物の予防と対策	…約 30%を占めるに至った (2022 年は 24.6%). わが国のがん死亡率 (2021 年, 人口 10 万対) は, 男性で 372.7, 女性で 252.1 と性差	…約 30%を占めるに至った (2023 年は 24.3%). わが国のがん死亡率 (2022 年, 人口 10 万対) は, 男性で 385.4, 女性で 197.4 と性差
	下から 13～12		…男性では気管・気管支および肺, 大腸, 胃, 膵, 肝の順, 女性で大腸, 気管・気管支および肺, 膵, 乳房, 胃の順である. …	…男性では気管・気管支および肺, 大腸, 胃, 膵, 結腸の順, 女性で大腸, 気管・気管支および肺, 膵, 乳房, 結腸の順である. …
	下から 4～3		…悪性新生物死亡全体に占める割合は, 2021 年は男 23.9%, 女 14.4%となっている.	…悪性新生物死亡全体に占める割合は, 2024 年は男 23.9%, 女 14.2%となっている.
193	10～12		2007 年度にがん検診を受診した 40 歳以上の者(子宮がん検診は 20 歳以上) は, 胃がん: 男 32.5%, 女 25.3%, 肺がん: 男 25.7%, 女 21.1%, 子宮がん: 女 21.3%, 乳がん: 女 20.3%, 大腸がん: 男 27.5%, 女 22.7%であった. …	2022 年度にがん検診を受診した 40 歳以上の者(子宮がん検診は 20 歳以上) は, 胃がん: 男 49.5%, 女 36.5%, 肺がん: 男 53.2%, 女 46.4%, 子宮がん: 女 43.6%, 乳がん: 女 49.4%, 大腸がん: 男 49.1%, 女 42.8%であった. …
193	下から 16		進め, 2023 年 4 月現在, がん診療連携拠点病院 402 施設, 地域がん診療病院 47 施設が	進め, 2024 年 4 月現在, がん診療連携拠点病院 400 施設, 地域がん診療病院 61 施設が
194	3～4	2) 心臓疾患の予防と対策	…全国の死亡数は約 23 万 3 千人で, 全死亡中の 14.8%を占め, 死因順位はがんに続いて第 2 位である (2022 年). …	…全国の死亡数は約 23 万 1 千人で, 全死亡中の 14.7%を占め, 死因順位はがんに続いて第 2 位である (2023 年). …
197	11～12	(2) 脳卒中	…第 3 位となり, 2022 年現在では, 死亡数は 10 万 7 千人で全死亡数の 6.8%を占め, …	…第 3 位となり, 2023 年現在では, 死亡数は 10 万 5 千人で全死亡数の 6.6%を占め, …
	下から 10		抑え (10g 未満に), 魚・肉…	抑え (男性 7.5g/日未満, 女性 6.5g/日未満), 魚・肉…
198	3～4	(1) 糖尿病	…わが国の糖尿病死亡率は 2016 年に人口 10 万対男性が 11.9, 女性が 9.7 で, …	…わが国の糖尿病死亡率は 2023 年に人口 10 万対男性が 14.8, 女性が 10.8 で, …
199	14～19	(2) 前立腺肥大	14 行目～19 行目を以下の文章に差し替え であったが, 2000 年では 7,514 人と半世紀で数十倍に増加した (2022 年は 13,439 人). 人口の年齢構成の影響を考慮した年齢調整死亡率 (人口 10 万人当たりの死亡率) も 1950 年の 0.5 から 2023 年には 22.7 と急増している. 罹患率においても死亡率と同様に粗罹患率, 年齢調整罹患率ともに急増しており, 1975 年には粗罹患率 4.4, 年齢調整罹患率 7.1 であったが, 2020 年には粗罹患率 143.0, 年齢調整罹患率 62.1 に増加している.	

201	図 9-5	特定健康診査・特定保健指導の概要	下図に差し替え																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">特定健康診査</th> </tr> <tr> <td>基本的な項目</td> <td> <input type="checkbox"/>質問票（服薬歴、喫煙歴等） <input type="checkbox"/>身体計測（身長、体重、BMI、腹囲） <input type="checkbox"/>血圧測定 <input type="checkbox"/>理学的検査（身体診察） <input type="checkbox"/>検尿（尿糖、尿蛋白） <input type="checkbox"/>血液検査 ・脂質検査（空腹時中性脂肪、やむを得ない場合には随時中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪が400mg/dl以上または食後採血の場合、LDL コレステロールに代えて non-HDL コレステロールの測定でも可） ・血糖検査（空腹時血糖または HbA1c、やむを得ない場合は随時血糖） ・肝機能検査（AST、ALT、γ-GT） </td> </tr> <tr> <td>詳細な健診の項目</td> <td> ※一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施 <input type="checkbox"/>心電図 <input type="checkbox"/>眼底検査 <input type="checkbox"/>貧血検査（赤血球、血色素量、ヘマトクリット値） <input type="checkbox"/>血清クレアチニン検査 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">特定保健指導</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr> <th>動機づけ支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> 初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後） </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			特定健康診査		基本的な項目	<input type="checkbox"/> 質問票（服薬歴、喫煙歴等） <input type="checkbox"/> 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲） <input type="checkbox"/> 血圧測定 <input type="checkbox"/> 理学的検査（身体診察） <input type="checkbox"/> 検尿（尿糖、尿蛋白） <input type="checkbox"/> 血液検査 ・脂質検査（空腹時中性脂肪、やむを得ない場合には随時中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪が400mg/dl以上または食後採血の場合、LDL コレステロールに代えて non-HDL コレステロールの測定でも可） ・血糖検査（空腹時血糖または HbA1c、やむを得ない場合は随時血糖） ・肝機能検査（AST、ALT、γ-GT）	詳細な健診の項目	※一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 貧血検査（赤血球、血色素量、ヘマトクリット値） <input type="checkbox"/> 血清クレアチニン検査	特定保健指導		<table border="1"> <tr> <th>動機づけ支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> 初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後） </td> </tr> </table>		動機づけ支援	積極的支援	初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。		自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践		3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。		実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後）	
特定健康診査																								
基本的な項目	<input type="checkbox"/> 質問票（服薬歴、喫煙歴等） <input type="checkbox"/> 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲） <input type="checkbox"/> 血圧測定 <input type="checkbox"/> 理学的検査（身体診察） <input type="checkbox"/> 検尿（尿糖、尿蛋白） <input type="checkbox"/> 血液検査 ・脂質検査（空腹時中性脂肪、やむを得ない場合には随時中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪が400mg/dl以上または食後採血の場合、LDL コレステロールに代えて non-HDL コレステロールの測定でも可） ・血糖検査（空腹時血糖または HbA1c、やむを得ない場合は随時血糖） ・肝機能検査（AST、ALT、γ-GT）																							
詳細な健診の項目	※一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施 <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 眼底検査 <input type="checkbox"/> 貧血検査（赤血球、血色素量、ヘマトクリット値） <input type="checkbox"/> 血清クレアチニン検査																							
特定保健指導																								
<table border="1"> <tr> <th>動機づけ支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> 初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後） </td> </tr> </table>		動機づけ支援	積極的支援	初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。		自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践		3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。		実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後）														
動機づけ支援	積極的支援																							
初回面接：個別面接 20 分以上、または概ね 8 名以下のグループ面接で概ね 80 分以上 専門的知識・技術を持った者（医師・保健師・管理栄養士等）が、対象者に合わせた実践的なアドバイス等を行う。																								
自身で、行動目標に沿って、生活習慣改善を実践																								
3 カ月以上の継続的支援：個別支援（ICT を含む）、電話、電子メール等を用い、アウトカム評価とプロセス評価を合計して 180P 以上の支援を実施。																								
実績評価：面接・電話・メール等で健康状態・生活習慣（改善状況）を確認（3 カ月経過後）																								
202	表 9-4	保健指導対象者の選定と階層化(2024 年度から)	<p>(ステップ 2・②脂質) 下線部を追加</p> <p>(ステップ 4) ○服薬中の者については、医療保険者による特定保健指導の対象としない。</p>	<p>(ステップ 2・②脂質) ④中性脂肪 150mg/dl(やむを得ない場合は随時中性脂肪 175 g/dl 以上)以上または⑥HDL コレステロール 40mg/dl 未満 (ステップ 4) ○服薬中の者については、医療保険者による特定保健指導を義務としない。</p>																				
203	図 9-6	介護サービスの利用手続き	図内右上「○施設サービス」内の「・介護療養型医療施設」を削除																					
	下から 1	5. 介護保険	<p>下から 1 行目に続いて以下の文章を追加</p> <p>これは市町村により設置され、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などのチームアプローチにより、権利擁護や地域の体制づくり、介護予防の支援が行われる。</p> <p>地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの中核をなす。地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域の中で一体的に提供する仕組みである（図 9-8）。</p>																					

203	追加図	地域包括ケアシステム	図 9-8 として下図を追加														
<p style="text-align: center;">図 9-8 地域包括ケアシステム (厚生労働省)</p>																	
217	8~9	1) 感染源対策	<p>…検疫が行われる。2023 年 4 月現在、日本では 80 か所の検疫海港と 30 か所の検疫空港が設けられている。</p> <p>…検疫が行われる。2024 年 4 月現在、日本では 80 か所の検疫海港と 31 か所の検疫空港が設けられている。</p>														
223	表 10-4	日本の現在の定期の予防接種	<p>(肺炎球菌) 沈降 7 価肺炎球菌結合型ワクチン</p> <p>(B 類疾病) B 類疾病の 1 行目 (インフルエンザ) と 2 行目 (肺炎球菌莢膜感染症) の間に下表を追加</p> <table border="1" data-bbox="288 1130 1159 1342"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">B 類疾病</td> <td>インフルエンザ</td> <td>インフルエンザ HA ワクチン</td> <td>ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>毎年度 1 回</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症</td> <td>未定</td> <td>ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など</td> <td>毎年度 1 回</td> </tr> <tr> <td>肺炎球菌莢膜感染症</td> <td>23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン</td> <td>ア 65 歳の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など</td> <td>1 回</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(2024 年 5 月現在。国民衛生の動向 2024/2025 を一部改変)</p>	B 類疾病	インフルエンザ	インフルエンザ HA ワクチン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など	/	毎年度 1 回	新型コロナウイルス感染症	未定	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など	毎年度 1 回	肺炎球菌莢膜感染症	23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン	ア 65 歳の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など	1 回
B 類疾病	インフルエンザ	インフルエンザ HA ワクチン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など		/	毎年度 1 回											
	新型コロナウイルス感染症	未定	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など			毎年度 1 回											
	肺炎球菌莢膜感染症	23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン	ア 65 歳の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定の障害を有する者など	1 回													
224	コラム図 (図注)	新型コロナウイルスの分子構造	<p>…診療の手引き、第 10.0 版 Aug 2023、https://www.mhlw.go.jp/content/001136687.pdf</p> <p>…診療の手引き、第 10.1 版 Apr 2024、https://www.mhlw.go.jp/content/001248424.pdf</p>														
	下から 16	コラム	<p>る。数%は肺炎、呼吸不全等重症になる。若者の死亡率は低いが、高齢者の死亡率は高い。</p> <p>下線部を削除</p>														

224	下から1 ～次頁2	コラム	2023年9月までのWHO発表の感染者数は多い国順に、米国1億344万人、中国9,931万人、インド4,500万人、フランス3,900万人で、8番目に日本3,380万人、世界合計7億7,078万人。また、世界の死者数は696万人…	2024年10月までのWHO発表の感染者数は多い国順に、米国1億300万人、中国9,940万人、インド4,500万人、フランス3,900万人で、8番目に日本3,380万人、世界合計7億7,638万人。また、世界の死者数は706万人…
	8～9		発生しており、2023年9月現在は第9波に突入している。新規感染者数は「波」を経るごとに増えているが、逆に死亡率は下がっている。	発生しており、2024年8月には第11波のピークを迎えた。なお、「波」を経るごとに死亡率は下がっている。
	下から20		…第6回は16%と下がっている。	…第6回は16%と下がった。2024年10月現在も、ワクチン接種を有料で受けることはできるが、基本的には、65歳以上の高齢者や基礎疾患をもつ60歳から64歳の人などが対象である（無料）。
	下から1		…訪日外客数も徐々に増え、同年8月では2019年同月比85.6%まで持ち直した。	…訪日外客数も徐々に増え、2024年9月では、前年同期比では増加しており、台風などの影響で一時的な減少がみられたが、それでもコロナ禍前の水準に戻りつつある。
258	下から6	1) 人口統計	下線部を追加	…前者は人口規模や男女別、年齢別の人口構成などのように…
	下から3		人口静態統計調査の代表例は…	下線部を削除
	下から1		…行われてきた国家的事業であり、性、年齢、…	行われてきた。調査時点に日本に住んでいるすべての人（国籍を問わない）について、性、年齢、…
259	2～6		2行目～6行目を以下の文章に差し替え 人口動態統計は市区町村への出生や死亡、結婚や離婚などの届け出に基づき、データが得られる。こうしたデータは、法律に基づいて、市区町村から保健所、都道府県、厚生労働省大臣官房統計部へ集計されてゆく。死亡届には死因が記載されるため、日本人がどのような病気で死亡しているかを把握することが可能となる。また、ある限定された目的をもったアンケート調査（たとえば出生動向基本調査）によってデータを収集することもある。	
	8～9	2) 統計疾病およびその他の保健統計	疾病統計は健康状態や傷病状況などを把握する保健統計で、患者調査などによって収集されるデータに基づいて明らかにされる統計である。患者調査は3年に1回、診療所	疾病統計は健康状態や傷病状況などを把握する保健統計で、食中毒統計などの届出に基づくものと、患者調査などの抽出調査によって収集されるものがある。患者調査は3年に1回実施され、診療所

259	下から7～次頁4	3. 主要な保健統計指標	下から7行目～260頁4行目を以下の文章に差し替え	
		<p>本節では、人口および人口増加率、性・年齢別人口構成、出生および死亡に関する人口統計指標、および有訴者率、受療率、致死率などの疾病統計について学ぶ。</p> <p>出生に関する人口指標にはいくつかある。本節では一般によく使われる出生率と合計特殊出生率、および合計特殊出生率を算出するために必要な年齢別出生率について述べる。出生率や合計特殊出生率などの出生にかかわるさまざまな指標を総体的に把握した出生水準の程度を出生力という。</p>		
260	下から4～2	1) 人口および人口増加率	…一方、近年の人口増加率はきわめて低下し、マイナスに転じている。2008年をピークに日本の総人口は減少しはじめ、長期的な人口減少の時代を迎えた。2050年代には日本の人口は…	…一方、近年の人口増加率は低下し続け、2011年以降はマイナスに転じている。2008年をピークに日本の総人口は減少しはじめ、長期的な人口減少の時代を迎えた。2055年以降には日本の人口は…
261	5～10	2) 性・年齢別人口構成	…また、73～75歳の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と48～51歳の第二次ベビーブーム期に生まれた人口が突出していることがわかる。人口ピラミッドは人口静態統計であるが、この型を決定する要因は、現在までの死亡率と出生率（人口動態）の水準である（人口移動も要因となるが、本項では考慮外とする）。死亡率や出生率の低下が続くと人口ピラミッドは現在のようになる。このように…	…また、74～76歳の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と49～52歳の第二次ベビーブーム期に生まれた人口が突出していることがわかる。人口ピラミッドは人口静態統計であるが、この型を決定する要因は、約100年前から現在までの死亡率と出生率（人口動態）の水準の推移である（人口移動も要因となるが、本項では考慮外とする）。後述するように、日本では死亡率や出生率の低下が続いた結果、現在のようないくつかの人口ピラミッドになった。このように…
	下から4～3		図13-3に1970年、2020年、2065年（推計）の人口ピラミッドを示した。このように人口ピラミッドの形がピラミッド型からつぼ型、さらに2065年のような形…	図13-3に1970年、2020年、2070年（推計）の人口ピラミッドを示した。このように人口ピラミッドの形がピラミッド型からつぼ型、さらに2070年のような形…
262	図13-3	1970、2020、2070年の日本の人口ピラミッド	<p>(3)の図を2070年として下図に差し替え</p> <p>(3) 2070年 (1,000人)</p> <p>男 女</p> <p>65歳以上人口</p> <p>15～64歳人口</p> <p>0～14歳人口</p> <p>1,500 1,000 500 0 0 500 1,000 1,500</p> <p>105 100 95 90 85 80 75 70 65 60 55 50 45 40 35 30 25 20 15 10 5 0</p>	

263	4～7	2) 性・年齢別人口構成	下線部を追加	…生産年齢人口という。老年人口と年少人口を合わせたものを <u>従属人口</u> という。人口ピラミッドの形の変化から、1970年から2020年までに老年人口の割合が増加し、年少人口の割合が減少したことがわかる(図13-3)。図13-1に3区分別人口の経年変化と将来推計を示したが、今後、65歳以上の <u>老年人口数</u> そのものはあまり増加しないものの、分母となる総人口が減っていくため、 <u>老年人口割合(全人口に対する老年人口の割合)</u> が
	下から9～8		%を超え、2022年には29.0%と、50年間で4倍以上に増加した。ヨーロッパ諸国に <u>比べて</u> 、日本は高齡化の…	%を超え、2023年には29.1%と、50年間で4倍以上に増加した。ヨーロッパ諸国が過去100～200年の間に <u>ゆっくり高齡化が進行したのに対し</u> 、日本は高齡化の…
	下から4	3) 出生数と出生率	<u>2022年の日本の出生数は約77万人であった(図13-4)。…</u>	<u>2023年の日本の出生数は約73万人であった(図13-4)。…</u>
	下から2～次頁1		…ある人口の出生力を把握するうえで出生数は基礎的なデータであるが、 <u>出生数だけでは出生力はわからない。出生力を把握するためにさまざまな人口指標が用いられる。もっとも基本的な指標は出生率とよばれ、以下の式のとおり、…</u>	…ある人口の出生力を把握するうえで <u>出生率はもっとも基礎的なデータである。出生率は以下の式のとおり、…</u>
264	下から1	4) 年齢別出生率および合計特殊出生率	下線部を追加	…2008年をピークに日本の人口は減少しはじめた(図13-1)。2006年
265	1～2		…その後やや回復したが、 <u>2021年には再び1.26</u> となった(図13-4)。…	…その後やや回復したが、 <u>2023年には1.20</u> となった(図13-4)。…
	下から4～2	5) 粗死亡率	…その後 <u>順調に低下し</u> 1980年には6.2になった。しかし、その後上昇し(表13-2)、 <u>2022年には12.9(概数)となっている。</u>	…その後 <u>低下し続け</u> 、1980年には6.2になった。しかし、その後上昇し(表13-2)、 <u>2023年には13.0(概数)となっている。</u>
266	下から8～7	6) 年齢別死亡率	…1935年にみられる20歳前後の死亡率の <u>上昇</u> がみられなくなったことなどがわかる。この20歳前後の死亡率の <u>上昇</u> はおもに…	…1935年にみられた20歳前後の <u>高い死亡率</u> がみられなくなったことなどがわかる。この20歳前後の <u>高い死亡率</u> はおもに…

266	下から 4～3		…すなわち、年齢別死亡率は高齢者で高いので、各年齢の死亡率が不変であっても、高齢者の割合が大きいほど、人口1,000人当たりで…	…すなわち、年齢別死亡率は図13-6に示したように高齢者で高いので、各年齢の死亡率が不変であっても、高齢者の割合が大きい人口集団では、人口1,000人当たりで…
267	下から 8～7	7) 年齢調整死亡率	…1985年モデル人口(5歳階級ごとの構成)が適用されてきた。このモデル人口は1985年の <u>実際の人口構成とは異なる標準化され</u>	…1985年モデル人口が適用されてきた。このモデル人口は1985年の人口構成に基づいて作成されているが、 <u>実際の人口構成とは異なり、年齢は5歳階級ごとにまとめられ、性別もない標準化され</u>
	下から1		下線部を追加	…2～3倍高い値になった。これは <u>基準人口を1985年型から高齢者の割合の多い2015年型に変更したため、高齢者の死亡率の重みが増したためである。</u> しかし、粗死亡率が1980年ころから…
268	5～6	8) 死因別死亡率	…異なり、その比較や推移を <u>検討したり、現状を把握し対応を検討する</u> うえで…	…異なり、その地域差や推移を把握し、 <u>対応を検討する</u> うえで…
	下から2		… <u>脳血管疾患を上回り、肺炎が増加傾向にある。</u> 1994～1995	… <u>脳血管疾患を上回り、肺炎が2015年頃まで増加傾向にあった。</u> 老衰は2018年に脳血管疾患を上回り、3位となっている。1994～1995
270	1		下線部を追加	… <u>死因分類の変更(ICD9→ICD10)による影響が大きな要因である。</u> …
	3		る。 <u>老衰は2018年に脳血管疾患を上回り、3位となっている。</u>	下線部を削除
	5～6		… <u>反映されることになる。</u> こうした場合に、 <u>年齢構成を補正して検討することの意義は、年齢調整死亡率の項で…</u>	下線部を削除
	8～12	8) 死因別死亡率	… <u>悪性新生物が図13-7で見たようには上昇していないこと、むしろ低下傾向にあることなどがわかる(2020年から「2015年モデル人口」が適用されて以降、図13-7のような毎年の変化を示した図は公表されなくなったが、死因別の増減傾向はほぼ同様である)。</u> 悪性新生物については、胃、大腸、肺、乳房など、 <u>部位別の死亡率の検討も重要である。</u>	… <u>悪性新生物が図13-7で見た粗死亡率のように上昇していないこと、むしろ1995年以降は低下傾向にあることなどがわかる。</u> 脳血管疾患や心疾患など、 <u>個別の疾患の死亡率の年次推移については、9章3.で詳述している。</u>

	14～ 273 頁 5	9) 生命表	14 行目～273 頁 5 行目を以下の文章に差し替え	
270			<p>生命表は、ある集団の死亡率、生存率を予測するための統計ツールである。たとえば人口 10 万人の集団について、今後、新たな出生がなく、移動による人口の増減もないと想定した場合、その 10 万人の人口がこの先 100 年くらいの間にどのように減っていくかは、年齢ごとの死亡率だけによって決まる。そのパターンは、子どもが多く死ぬか、あるいは高齢まで生き残るか、などの年齢ごとの死亡状況によって異なるはずである。そこで、ある時点におけるその集団の年齢調整死亡率がその後 100 年間以上変わらないと仮定すると、10 万人からスタートした人口がこの先どのように変化するかを予測することができる。このために用いられる年齢ごとの生存数、死亡率などを示した表が生命表である。</p> <p>生命表を用いることで、ある年齢に達した人が今後平均して何歳まで生存し続けられるか、すなわちその年齢における平均余命を予想できる。0 歳における平均余命が「平均寿命」である。ここで注意すべきことは、たとえば 2024 年における日本人の平均寿命は、2024 年に亡くなった日本人の実際の寿命の平均値ではない、ということである。2024 年における日本の年齢別死亡率が今後 100 年以上変化しない、という条件でシミュレーションを行い、2024 年における 0 歳の人間が今後平均して何歳まで生き残るかを生命表で予測した数値が「2024 年における日本人の平均寿命」である。</p> <p>生命表には、生命関数と呼ばれる死亡率、生存数、死亡率、定常人口、平均余命などが含まれる。生命関数を用いた平均余命の求め方の実際は複雑なので、ここでは図を用いて簡略化して説明する。</p> <p>図 13-9 (1) に赤線で示したのは生存曲線と呼ばれるもので、人口 10 万人が各年齢における死亡率から減っていった場合の年齢ごとの人口を示している（実際には 100 年以上生存する者もいるが、この図では便宜上 100 歳までとしている）。生存曲線の下部分の面積（個々人の生存年数の合計）を人口 10 万人で割った値が 0 歳平均余命、すなわち平均寿命である。図の (A) と (A') の部分の面積が同じになるように作成したのが点線の四角で、この面積は生存曲線の下部分の面積と同じになる。したがって、この図の x 歳が平均寿命となる。</p> <p>平均余命は 0 歳だけでなくさまざまな年齢について求められる。図の (1) での x 歳における平均余命は、(A') の部分を用いて同じように求めることができる。現在の日本人男性の平均寿命は約 81 歳であるが、生命表を用いて 85 歳における平均余命を求めることも可能である。</p> <p>生命表を用いて平均寿命を求めることはシミュレーションであるため、図 13-9 (2) のように、さまざまな条件でのシミュレーションを行うことができる。たとえば、A は乳幼児の死亡率が著しく高い場合の生存曲線である。この場合、平均寿命 (a 歳) は 10 歳前後となる。縄文時代はこのような状況だったかもしれない。しかし、平均寿命が 10 歳代のこの集団においても高齢まで生き残る人はいたはずである。B の生存曲線では乳幼児と若年者の生存率が A より改善されたため、平均寿命 (b 歳) が少し伸びている。江戸時代の平均寿命は 30 歳代と言われるが、おそらく B のような状況だったのだろう。一方、乳幼児期と若年者の死亡率が顕著に改善されると、C のように生存曲線は著しく変化し、平均寿命 (c 歳) も大きく伸びる。さらに D のように高齢者の死亡率も低下すると、平均寿命 (d 歳) がさらに伸びて、現在の日本の状況に近づく。</p> <p>このように、平均寿命が徐々に伸びてきた要因のうち、第一に貢献したのは乳幼児の死亡率の低下であることがわかる。近年の日本の平均寿命の延伸は、さらにこれに高齢者の死亡率の低下も加わって起こっている。</p>	
271	表 13-3	日本人女性の生命表 (2020 年)	表 13-3 を削除し、本冊子 21 頁の図 13-9 に差し替え	
273	下から 2～1	9) 生命表	…一方、2020 年から 2021 年にかけて、日本を含む多くの国で男女とも平均寿命が少し縮まっている。これ	…一方、2020 年以降、日本を含む多くの国で男女とも平均寿命が低下している。これ

274	4	9) 生命表	下線部を追加	命の延伸、および平均寿命と健康寿命との差を小さくすることが、国民の健康増進に…
	下から7～6	10) 有訴者率	…生活影響を独立の指標とし、それぞれの組み合わせにより国民の健康状態を示し、今後の健康政策、保健医療対策の基礎資料としている。…	…生活影響を調査している。…
	下から3～1		すなわち、調査対象となった全世界帯員数を母集団として、有訴者の割合を1,000人あたりで表した指標である。 性・年齢階級別の有訴者率を図13-10に示す。全年齢でみると男性(270.8)より女性(332.1)が高いこと、…	性・年齢階級別の有訴者率を図13-10に示す。全年齢でみると男性(246.7)より女性(304.2)が高いこと、…
276	2～3	11) 受療率	ともに高くなること、 年齢階級によって男女の受療率が逆転することなどがわかる。 また、外来では男女とも80～84歳がもっとも高いこと、…	ともに高くなることがわかる。また、外来による受療率は、男では80～84歳、女では75～79歳がもっとも高いこと、…
	11～13	12) 致命率	響されるが、ここではいくつかの新興・再興感染症を中心にその率をみておこう。ラッサ熱は感染者の1～2%、入院患者の15～20%、エボラ出血熱は50～90%、マールブルグ病は約25%、クリミア・コンゴ出血熱は15～30%、ペストは…	響される。いくつかの新興・再興感染症を中心にその致死率を以下に示す。ラッサ熱の致死率は感染者の1～2%、入院患者の15～20%、エボラ出血熱は25～90%、マールブルグ病は約50%、クリミア・コンゴ出血熱は15～40%、ペストは…
276	15		下線部を追加	…新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による世界主要国の
	17		2022年8月には0.27%まで約97%低下した。…	下線部を削除

2024年発表資料に基づき刷新した図表（上記を除く）

頁	図表番号	タイトル
64	図3-3	食中毒患者数の年次推移
65	表3-10	食中毒事件数・患者数等の推移
66	表3-11	腸管出血性大腸菌(VT産生)による食中毒の発生状況
122	図4-21	典型7公害の種類別苦情件数の推移
122	表4-24	過去5年間の累積地盤沈下の上位5地域
140	図5-1	労働災害による労働者の死傷病者数および死亡者数の推移
156	表6-3	全国の精神病院数、在院患者数、措置患者数、措置率、病床利用率の年次推移

165	表 7-2	乳児死亡、新生児死亡および早期新生児死亡の実数、率（出生 10 万対）および割合（2022 年）
	図 7-1	乳児死亡率（出生千対）の国際比較
183	表 8-6	日本スポーツ振興センターの死亡見舞金給付状況（死因別）
184	表 8-7	主な疾病・異常被患率の推移
188	表 9-1	わが国の人口の年齢 3 区分別人口・構成割合および諸指標の年次比較
190	表 9-2	男子年齢階級別の有訴者率（人口千対）と通院者率（人口千対）
192	図 9-1	部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率（人口 10 万対）の年次推移
195	図 9-2	心疾患の死亡率（人口 10 万対）の年次推移
198	図 9-4	主要死因別にみた死亡率（人口 10 万対）の年次推移
260	図 13-1	日本の人口および 3 区分人口
261	図 13-2	2023 年の日本の人口ピラミッド
263	図 13-4	出生数と合計特殊出生率の推移
266	表 13-2	粗死亡率・年齢調整死亡率（人口千対）の推移
268	図 13-7	日本の死因別死亡率の推移
269	図 13-8	日本の死因別年齢調整死亡率の推移
273	図 13-9	各国の平均寿命の比較
274	図 13-10	性・年齢階級別有訴者率（2022 年）

表 3-8 健康日本 21（第三次）の主な目標

目標	指標	目標値
●健康寿命の延伸と健康格差の縮小		
健康寿命の延伸	日常生活に制限のない期間の平均	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
●個人の行動と健康状態の改善		
適正体重を維持している者の増加（肥満、若年女性のやせ、低栄養傾向の高齢者の減少）	BMI18.5 以上 25 未満（65 歳以上は BMI20 を超え 25 未満）の者の割合	66 %
野菜摂取量の増加	野菜摂取量の平均値	350g
運動習慣者の増加	運動習慣者の割合	40 %
睡眠時間が十分に確保できている者の増加	睡眠時間が 6～9 時間（60 歳以上については、6～8 時間）の者の割合	60 %
生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の減少	1 日当たりの純アルコール摂取量が男性 40 g 以上、女性 20 g 以上の者の割合	10 %
喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）	20 歳以上の者の喫煙率	12 %
糖尿病有病者の増加の抑制	糖尿病有病者数（糖尿病が強く疑われる者）の推計値	1,350 万人
COPD（慢性閉塞性肺疾患）の死亡率の減少	COPD の死亡率（人口 10 万人当たり）	10.0
●社会環境の質の向上		
「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」の推進	「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」に登録されている都道府県数	47 都道府県
健康経営の推進	保険者とともに健康経営に取り組む企業数	10 万社
●ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり		
若年女性のやせの減少	BMI 18.5 未満の 20 歳～30 歳代女性の割合	15 %
生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している女性の減少	1 日当たりの純アルコール摂取量が 20 g 以上の女性の割合	6.4 %
骨粗鬆症検診受診率の向上	骨粗鬆症検診受診率	15 %

国民衛生の動向 2024/2025

E 型肝炎)

これらの感染症のくわしいことは、第 10 章（感染症対策）で述べられている。

飲食物に関係のある寄生虫のおもなものは、次のとおりである。

回虫、鉤虫、蟯虫、アニサキスなど（線虫類）、肝吸虫、肺吸虫など（吸虫類）、広節裂頭条虫、有鉤条虫、無鉤条虫など（条虫類）。

回虫と鉤虫はその卵がヒトの糞便から環境に出て、ふたたびヒトに侵入する。糞便を

表 8-4 学校において予防すべき感染症

2023年5月改正

	感染症の種類	出席停止の期間の基準	考え方
第一種 ¹⁾	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群 ²⁾ 、中東呼吸器症候群 ³⁾ および特定鳥インフルエンザ ⁴⁾	治癒するまで	感染症法の一類感染症および二類感染症(結核を除く)
第二種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで	空気感染または飛沫感染する感染症で児童生徒のり患が多く、学校において流行を広げる可能性が高いもの
	百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで	
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下線の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	
	風しん	発しんが消失するまで	
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで	
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで	
	新型コロナウイルス感染症 ⁵⁾	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	
結核 髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで		
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性があるもの

資料 学校保健安全法施行規則などにより作成

- 注 1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律6条7項から9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症および新感染症は、第一種の感染症とみなす。
 2) 病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。
 3) 病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。
 4) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律6条3項6号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。なお、現時点で病原体の血清型は H5N1 および H7N9。
 5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(2020年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。

(国民衛生の動向 2024/2025)

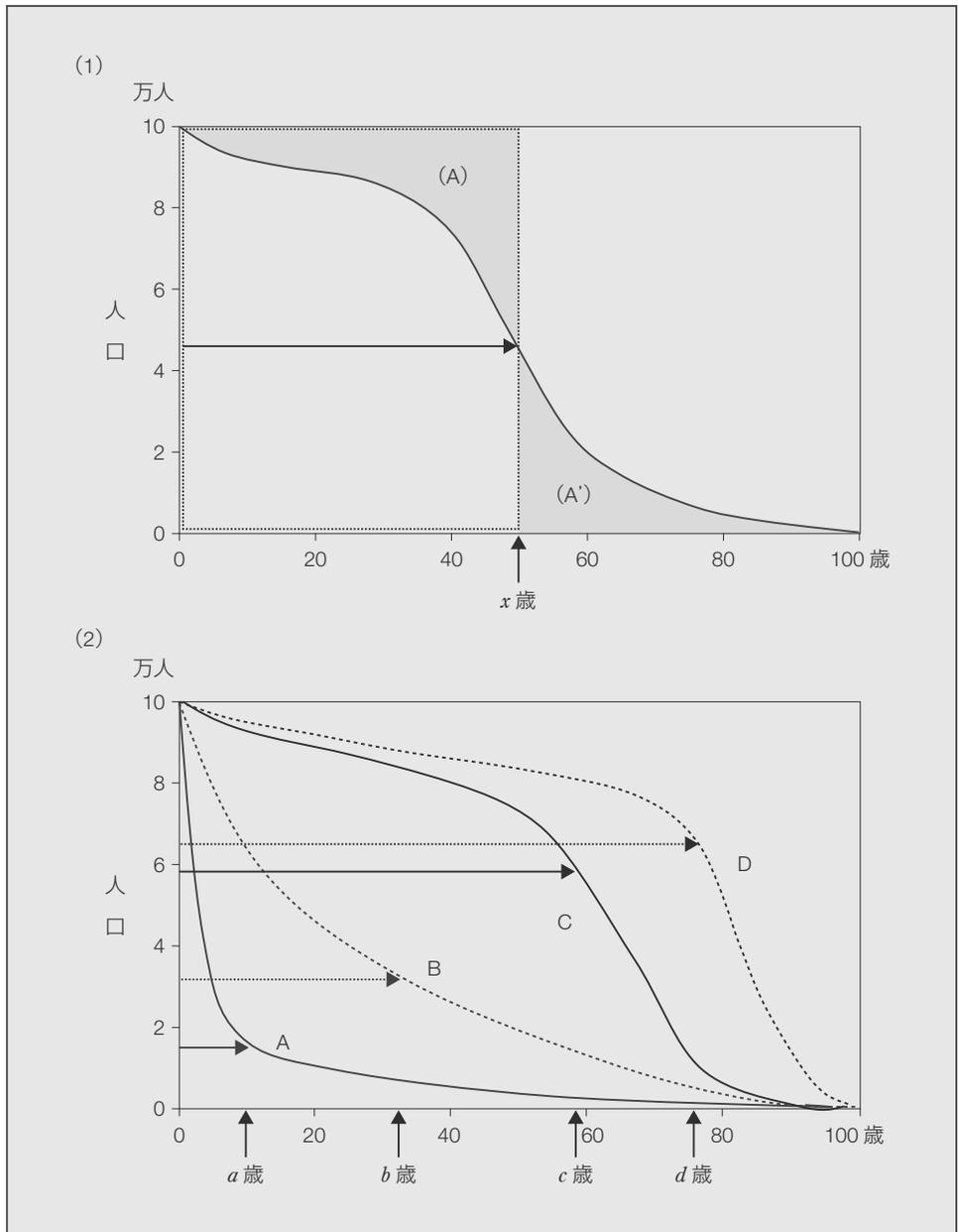


図 13-9 生命表における生存曲線の意味と平均寿命の求め方

『関係法規』

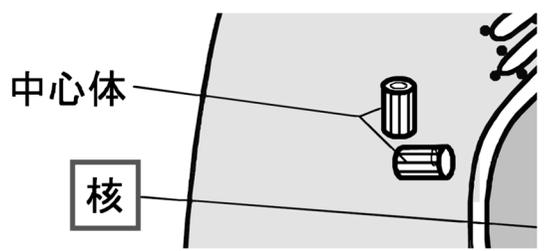
頁	行	項目	第7版第16刷(2024年4月) 該当箇所	第7版第17刷(2025年1月) 修正
9	章目次	第1章	章目次の下に以下の文章を追加 *本文中の「 <u>拘禁刑</u> 」の文言は、令和7年(2025年)6月より懲役と禁錮を廃止し、 <u>拘禁刑</u> として一本化するものである。	
13	9	(1) 総説	年以下の <u>懲役</u> 又は100万円以下の罰金) …	年以下の <u>拘禁刑</u> 又は100万円以下の罰金) …
22	6	1) 業務の独占と業務の範囲	規定により3年以下の <u>懲役</u> 又は100万円以下の罰金), …	規定により3年以下の <u>拘禁刑</u> 又は100万円以下の罰金), …
23	12~14	(1) 法第4条の関係	…(3年以下の <u>懲役</u> 又は100万円以下の罰金)又は、その併科。なお、販売又は授与の目的で調剤すれば、薬剤師法第19条に違反することとなる(3年以下の <u>懲役</u> 若しくは100万円以下の罰金、…	…(3年以下の <u>拘禁刑</u> 又は100万円以下の罰金)又は、その併科。なお、販売又は授与の目的で調剤すれば、薬剤師法第19条に違反することとなる(3年以下の <u>拘禁刑</u> 若しくは100万円以下の罰金、…
55	8	1) 病院, 診療所, 地域医療支援病院, 特定機能病院, 助産所	療科を含むものとする(令第6条の4第1項)。…	療科を含むものとする(規則第6条の4第1項)。…
59	下から1	3) 名称および業務の独占	下の <u>懲役</u> もしくは100万円以下の罰金に…	下の <u>拘禁刑</u> もしくは100万円以下の罰金に…
60	10~11		…3年以下の <u>懲役</u> (令和7年6月16日までの刑法改正施行日より <u>拘禁刑</u> となる)もしくは200万円以下の罰金に…	下線部を削除
	14		…医学を専攻する学生が大学が共用する試験として…	下線部を削除
62	下から2~1	(3) 業務の独占・名称の独占など	…2年以下の <u>懲役</u> (令和7年6月16日までの刑法改正施行日より <u>拘禁刑</u> となる)もしくは50万円以下の罰金に…	下線部を削除
65	下から5	(3) 業務など	…1年以下の <u>懲役</u> もしくは50万円以下の罰金に…	…1年以下の <u>拘禁刑</u> もしくは50万円以下の罰金に…
66	7~8		…6か月以下の <u>懲役</u> (令和7年6月16日までの刑法改正施行日より <u>拘禁刑</u> となる)又は30万円以下の罰金に…	下線部を削除
67	4	5) 歯科衛生士法	…1年以下の <u>懲役</u> (令和7年6月16日までの刑法改正施行日より <u>拘禁刑</u> となる)もしくは50万円以下の罰金に…	下線部を削除
	下から13~12	6) 歯科技工士法	…1年以下の <u>懲役</u> (令和7年6月16日までの刑法改正施行日より <u>拘禁刑</u> となる)もしくは50万円以下の罰金に…	下線部を削除

74	10	(2) 定義	の懲役もしくは300万円以下の罰金に…	の拘禁刑もしくは300万円以下の罰金に…
	下から11		…3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金に…	…3年以下の拘禁刑若しくは300万円以下の罰金に…
	下から2	(3) 広告	…2年以下の懲役若しくは200	…2年以下の拘禁刑若しくは200
75	下から7	2) 薬剤師法	…3年以下の懲役若しくは100万	…3年以下の拘禁刑若しくは100万
111	15	(8) 感染症や災害への対応力強化含めた5つの柱	15行目の次に以下の文章を追加 2024年改正では、地域包括ケアシステムの深化・推進を改正の基本とした。それは介護情報基盤の整備について、自治体や介護事業所、医療機関が一体となって必要な介護サービスを切れ目なく提供できるように地域包括ケアシステムの推進を目指すものとしている。	
119	11	(2) 定義	下線部を追加	体系的に構成したものとして政令で定めるもの <u>したがってバラバラに収納されている名刺等は個人データベースとはならない。</u>
150	第13条の4	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律	…1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に…	…1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に…
	第13条の5		…1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に…	…1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に…
	第13条の6		…1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に…	…1年以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金に…
155	改正年度	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律施行令	下線部を追加	令4…政令39 令6…政令302
	第11条		…受験手数料の額は、 <u>14,400</u> 円とする。	…受験手数料の額は、 <u>19,500</u> 円とする。

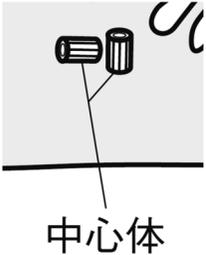
『解剖学』

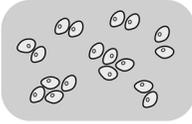
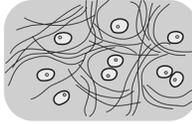
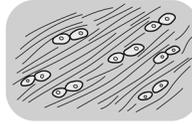
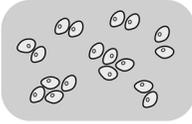
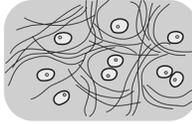
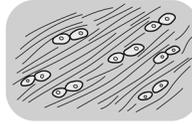
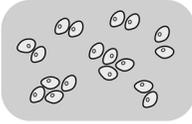
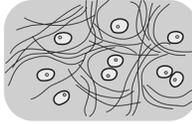
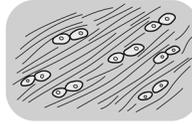
頁	行	項目	第2版第19刷(2024年1月) 該当箇所	第2版第20刷(2025年1月) 修正
1	6	学習のポイント	2. 人体は大きさが5~120 μ mの細胞がおよそ60兆個集まり、構成されている。	2. 人体は大きさが5~120 μ mの細胞が数十兆個集まって、構成されている。
260	下から8	(1) 腕神経叢の構成	に向かって、腋窩神経・肩甲上神経・肩甲下神経・胸背神経を次々と分枝する。…	に向かって、腋窩神経などの上肢帯筋への枝を次々と分枝する。…
262	下から3 ~次頁1	(3) 上肢帯での神経走行(腋窩神経など)	(3) 上肢帯での神経走行(腋窩神経など)(図10-109) 後神経束からは上肢帯の支配神経が数本に分かれて出る。C5・6が合流した上神経幹(後神経束に移行する付近で)から肩甲上神経が分かれる。その少し遠位で後神経束から肩甲下筋に至る…	(3) 上肢帯の神経(図10-109) 上肢帯の筋への神経は、おもに後神経束からの神経によって支配される。後神経束は上・中・下神経幹のそれぞれから後方に向かって分かれた枝が合流することによって形成される。上肢帯筋に向かう神経のうち、肩甲上神経は上神経幹から後方に分かれる枝として肩甲骨背面の棘上筋と棘下筋に分布する。肩甲上神経が枝分かれた少し遠位で、後神経束が形成され、肩甲下筋に至る…

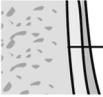
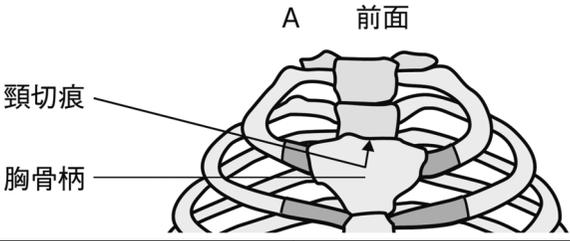
『生理学』

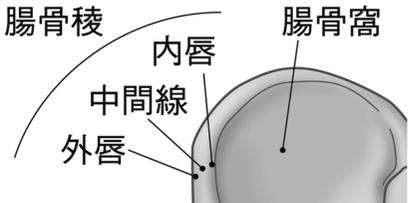
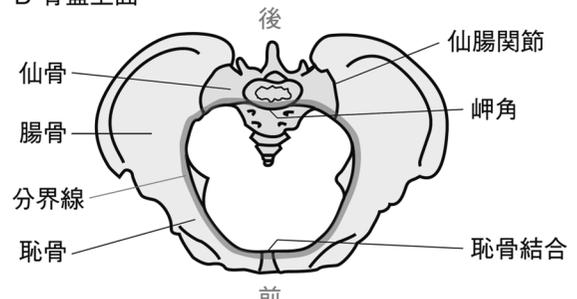
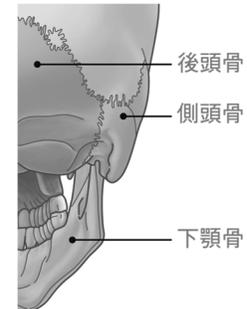
頁	行	項目	第3版第11刷(2024年1月) 該当箇所	第3版第12刷(2025年1月) 修正
2	下から4~3	c. 細胞・組織・器官・器官系・個体	ヒトの体は多数の細胞から構成される。細胞の数は、正確には分からないが、成人ではおよそ60兆個にも達するといわれる。各細胞は個体の機能の…	ヒトの体は数十兆個の細胞から構成される。各細胞は個体の機能の…
4	図1-1	細胞の微細構造	中心体の色、点線を変更 	
149	下から2	注	骨形成を促進する。…	骨量を維持する。…
256	図13-3	体性感覚の伝導路	(図内左下) 前外側索	前索と側索

『解剖生理』

頁	行	項目	第1版第1刷(2022年3月) 該当箇所	第1版第2刷(2025年1月) 修正																	
1		A. 細胞 3)	…ミトコンドリア, リソソーム , 小胞体などの…	…ミトコンドリア, 小胞体, <u>ゴルジ体</u> , <u>ライソゾーム</u> などの…																	
		B. 体液と恒常性 1)	…細胞内液には K^+ と HPO_4^{2-} やタンパク質陰イオンが…	下線部を削除																	
		同義語	(同義語2行目) <u>リソソーム</u> = <u>ライソゾーム</u>	(同義語2行目) <u>ライソゾーム</u> = <u>リソソーム</u>																	
			下線部を追加	(同義語4行目) …ネクロシス = 壊死 Na^+ = ナトリウムイオン K^+ = カリウムイオン Ca^{2+} = カルシウムイオン Cl^- = 塩化物イオン HCO_3^- = 炭酸水素イオン = 重炭酸イオン 担体 = トランスポーター																	
2	図 1-2	細胞(A)と細胞膜(B)の微細構造を示す模式図	中心体のイラストを下図に差し替え 																		
3	下から 14	(2) 細胞小器官	…タンパク質の 濃縮 ・ <u>修飾</u> ・ <u>分泌</u> に関与する.	…タンパク質の修飾 <u>など</u> に関与する.																	
5	図 1-5	体液の区分と体液に占める割合	下線部を追加	細胞内液(体重の約40%) 間質液(体重の約15%) 血漿(体重の約5%)																	
6	表 1-1	細胞外液(血漿)と細胞内液の主なイオン組成	下表に差し替え																		
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">陽イオン</th> <th colspan="2">陰イオン</th> </tr> <tr> <th>Na^+</th> <th>K^+</th> <th>Cl^-</th> <th>タンパク質イオン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血漿</td> <td>140</td> <td>4</td> <td>100</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>細胞内液 (細胞によって異なる)</td> <td>15</td> <td>140</td> <td>10</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>		陽イオン		陰イオン		Na^+	K^+	Cl^-	タンパク質イオン	血漿	140	4	100	15	細胞内液 (細胞によって異なる)	15	140	10
		陽イオン			陰イオン																
Na^+		K^+	Cl^-	タンパク質イオン																	
血漿	140	4	100	15																	
細胞内液 (細胞によって異なる)	15	140	10	60																	
2	(2) 体液の電解質組成	体液には Na^+ , K^+ , Ca^{2+} , Mg^{2+} , Cl^- , HCO_3^- , HPO_4^{2-} などが溶けている. …	体液には Na^+ (ナトリウムイオン), K^+ (カリウムイオン), Ca^{2+} (カルシウムイオン), Cl^- (塩化物イオン), HCO_3^- (炭酸水素イオン)などが溶けている. …																		
4		K^+ , HPO_4^{2-} やタンパク質の…	下線部を削除																		

6	下から 1	(3) 物質の移動	…移動する。水が浸透するときに生じる…	…移動する。このときに生じる…											
9	図 1-9	上皮組織の形態的分類	下線部を追加	(単層円柱上皮) 胃や腸の上皮 (多列上皮) 気管上皮 (移行上皮) 膀胱上皮											
11	図 1-12	支持組織の種類	軟骨組織のイラストを下図に差し替え												
	表 1-2	支持組織の分類	下線部を追加	(結合組織・主な細胞成分) 線維芽細胞 (線維と基質の形成)											
13		同義語	下線部を追加	(同義語 3 行目) …椎間板 = 椎間円板 近位橈尺 関節 = 上橈尺関節 遠位橈尺 関節 = 下橈尺関節 手根中手関節 = CM 関節…											
19	7	(5) 骨の成長	下線部を追加	(5) 骨の発生と成長 (図 2-6)											
20	図 2-7	軟骨組織の種類	下図に差し替え												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>硝子軟骨</th> <th>弾性軟骨</th> <th>線維軟骨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>例</th> <td>関節軟骨, 気管軟骨</td> <td>耳介軟骨</td> <td>椎間板</td> </tr> </tbody> </table>	種類	硝子軟骨	弾性軟骨	線維軟骨					例	関節軟骨, 気管軟骨	耳介軟骨	椎間板	
	種類	硝子軟骨	弾性軟骨	線維軟骨											
															
例	関節軟骨, 気管軟骨	耳介軟骨	椎間板												
下から 4		下線部を追加	…関節窩が回旋する (例: 正中環軸関節 ^{かんじく})。)												
21	8	(1) 関節の種類	下線部を追加	…椎間板などでみられる。なお、線維軟骨結合は可動性があるため、半関節に分類されることが多い。											

21	図 2-9	関節の構造	骨膜の引き出し線を延長 (右図)	 骨膜
22	下から 15	(2) 骨格筋の構造	下線部を追加	筋の付着部位のうち、 <u>原則としては動きの少ない</u> …
23	1~3	(3) 筋線維と筋原線維	…アクチンの一端は <u>Z 帯</u> という仕切りに付着しており、他端はミオシンと部分的に平行して走る。筋の収縮はアクチンがミオシンの方へ滑走することによって起こる。	…アクチンの一端は <u>Z 板</u> という仕切りに付着しており、他端はミオシンと部分的に平行して走る。ミオシンのフィラメントとアクチンのフィラメントが互いに滑走すると筋が収縮する。
23	図 2-11	骨格筋の微細構造	(イラスト D・E・F 内) <u>Z 帯</u>	(イラスト D・E・F 内) <u>Z 板</u>
24	下から 4	(1) 筋収縮の仕組み	…ミオシン頭部の動きにより <u>アクチンがミオシンに対して滑走する (筋の収縮)</u> 。	…ミオシン頭部の動きにより <u>ミオシンがアクチンのフィラメントを滑らせて、筋が収縮する</u> 。
	図 2-13	筋収縮の仕組み	<u>Z 帯</u>	<u>Z 板</u>
25	15	(2) 筋収縮のエネルギー代謝	下線部を追加	…この過程では 1 モルのグルコースから最大 38
33	図 2-22	胸郭	「頸切痕」を追加	
	下から 9	(1) 胸骨	下線部を追加	…ここを <u>胸骨角</u> という。胸骨角の左右には第 2 肋骨がつく。
	下から 5	(2) 肋骨	下線部を追加	れる。第 7~10 肋軟骨の下縁は連なり、肋骨弓を形成する。 肋骨は、胸椎および胸骨との間に可動性の関節を作る。
36	10	(3) 前腕骨	…遠位端は近位端より太く、 <u>内側には茎状突起</u> が、	…遠位端は近位端より太く、 <u>外側には茎状突起</u> が、
37	下から 4	(5) 上肢の関節	下線部を追加	能である。 <u>内側側副靭帯と外側側副靭帯によって保護される。</u>
	下から 1		下線部を追加	iii) <u>近位橈尺関節 (上橈尺関節)</u> : 車軸関節であり、回旋運動を行う。橈骨輪状靭帯によって保護される。
	図 2-29	肘関節	<u>上橈尺関節</u>	<u>近位橈尺関節</u>

38	1~2	(5) 上肢の関節	④下橈尺関節と前腕骨間膜(図 2-30)： <u>下橈尺関節</u> は橈骨の尺骨切痕と尺骨の関節環状面の間の車軸関節で、 <u>上橈尺関節</u> とともに前腕の…	④遠位橈尺関節(下橈尺関節)と前腕骨間膜(図 2-30)： <u>遠位橈尺関節</u> は橈骨の尺骨切痕と尺骨の関節環状面の間の車軸関節で、 <u>近位橈尺関節</u> とともに前腕の…
39	図 2-32	寛骨	腸骨稜の「内唇」「外唇」を以下に修正 	
40	図 2-33	骨盤(女性)	「D 骨盤上面」のイラストを下図に差し替え 	
45	2 下から 1	5-頭蓋骨 (2) 顔面頭蓋の骨	頭の骨を頭蓋といい、 <u>頭</u> を納める脳頭蓋と、… 下線部を追加	頭の骨を頭蓋といい、 <u>脳</u> を納める脳頭蓋と、… …左右 1 対の骨、 <u>頬骨弓</u> は後方では側頭骨に連なる。
46	図 2-39	頭蓋骨	「D 頭蓋骨(後面)」の「側頭骨」「後頭骨」を以下に修正 	

49	表 2-2	上肢の運動のまとめ	下表に差し替え
----	-------	-----------	---------

表 2-2 上肢の運動のまとめ

特に重要な事項は赤字で示す

肩関節の運動 (上腕の運動)	屈曲(上腕を前方に上げる)	大胸筋が重要で、他に三角筋や上腕二頭筋なども参加する。また、小胸筋、前鋸筋も肩甲骨を回旋させ、肩を前に出して屈曲を助ける。
	伸展(上腕を後方に引く)	広背筋、三角筋、大円筋などが働く。
	外転(上腕を体から離す)	三角筋と棘上筋が重要で、腕を真上に挙げる際は肩甲骨を回旋させるのに僧帽筋も重要である。
	内転(上腕を体に近づける)	大胸筋と広背筋が重要である。
	回旋運動	多くの筋が作用するが、内旋(親指の側に回す)には肩甲下筋が、外旋(小指の側に回す)には棘下筋、小円筋が主力となる。
肘関節の運動 (前腕の運動)	屈曲(肘を曲げる)	主力筋は上腕筋が働き、強く屈曲するとき(力を入れて肘を曲げるとき)は強力な屈筋である上腕二頭筋が働く。
	伸展(肘を伸ばす)	上腕三頭筋が働く。
	回旋運動	円回内筋、方形回内筋、回外筋がはずかり、上腕二頭筋も回外運動を助ける。
手の運動	手首の運動	橈側・尺側手根屈筋や橈側・尺側手根伸筋などが働く。
	指の運動	多数の前腕の筋と手の内在筋が働き、微妙な動きを可能にしている。

50	表 2-3	下肢の運動のまとめ	下表に差し替え
----	-------	-----------	---------

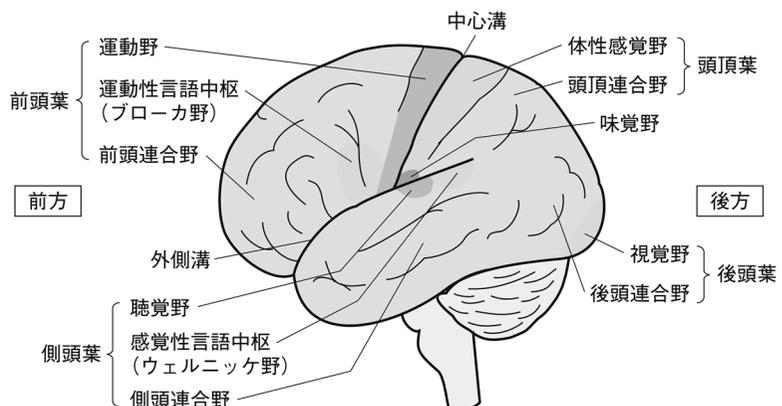
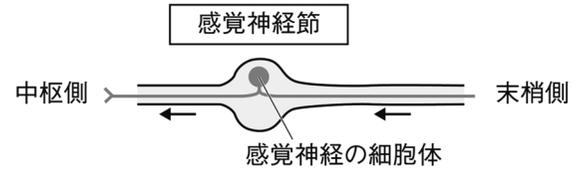
表 2-3 下肢の運動のまとめ

特に重要な事項は赤字で示す

股関節の運動 (大腿の運動)	屈曲(大腿を前に上げる、腰を前に傾ける)	腸腰筋が重要で、他に縫工筋や大腿直筋なども参加する。
	伸展(後屈ともいう、大腿を後方に引く、腰をまっすぐに伸ばす)	大殿筋と大腿の屈筋群が働く。
	内転(足を閉じる)	内転筋群が重要である。
	外転(足を広げる)	中および小殿筋が働く。
	内旋(内股)	中および小殿筋が働く。
	外旋(がに股)	外旋六筋が働く。
	歩行	腸腰筋による大腿の屈曲と、大殿筋による伸展を繰り返す。
	直立	腸腰筋、大殿筋、大腿筋膜張筋などの緊張によりバランスを保つ。
膝関節の運動 (下腿の運動)	屈曲(膝を曲げる)	大腿屈筋群(ハムストリングス)が働く。
	伸展(膝を伸ばす)	大腿四頭筋が働く。
足の運動	足の背屈	前脛骨筋と長指伸筋が主として働く。
	足の底屈(踵を上げる)	下腿三頭筋が主として働き、腓骨筋群や後脛骨筋なども関わる。
	内反(足底を内側に翻す運動)	前・後脛骨筋が働く。
	外反(足底を外側に翻す)	腓骨筋群が働く。
	趾の運動	下腿の筋と足の内在筋が働く。

55	表 2-5	胸腹部の筋	(腹直筋・起始) 胸骨, 第 5~7 肋骨 (腹直筋・停止) 恥骨, 恥骨結合	(腹直筋・起始) 恥骨, 恥骨結合 (腹直筋・停止) 胸骨, 第 5~7 肋骨 (表の下部に注を追加) (注) 体幹部の筋は起始停止が曖昧で, 教科書によっては反対の記載もある.																																						
56	1	(4) 骨盤底筋	下線部を追加	(4) 骨盤底筋 (会陰筋) (図 2-51)																																						
	下から 16	(5) 腹筋群と鼠径靭帯	…細長い筋で, 胸骨・第 5~7 肋骨から起こり, 恥骨につく. 筋腹が 3~4 個の…	…細長い筋で, 恥骨から起こり, 胸骨と第 5~7 肋骨に停止する. 筋腹が 3~4 個の…																																						
58	図 2-54	胸腹部の筋の走行	<p>「腹部前面」のイラストを下図に差し替え</p> <p style="text-align: center;">腹部前面</p>																																							
60	表 2-6	上肢帯の筋	下表の箇所を差し替え																																							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">筋</th> <th style="width: 25%;">起始</th> <th style="width: 25%;">停止</th> <th style="width: 15%;">支配神経</th> <th style="width: 15%;">作用</th> <th style="width: 5%;">R</th> <th style="width: 5%;">A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>僧帽筋</td> <td>後頭骨~T12 棘突起, 項靭帯</td> <td>肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨</td> <td>副神経 頸神経叢</td> <td>上方回旋 など</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三角筋</td> <td>肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨</td> <td>上 三角筋粗面</td> <td>腋窩神経</td> <td>肩関節 外転, 屈曲, 伸展</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>烏口腕筋*</td> <td>烏口突起</td> <td>内側縁</td> <td>筋皮神経</td> <td>屈曲</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鎖骨下筋</td> <td>第 1 肋骨</td> <td>鎖骨</td> <td>鎖骨下筋神経</td> <td>鎖骨の下制</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						筋	起始	停止	支配神経	作用	R	A	僧帽筋	後頭骨~T12 棘突起, 項靭帯	肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨	副神経 頸神経叢	上方回旋 など			三角筋	肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨	上 三角筋粗面	腋窩神経	肩関節 外転, 屈曲, 伸展			烏口腕筋*	烏口突起	内側縁	筋皮神経	屈曲			鎖骨下筋	第 1 肋骨	鎖骨	鎖骨下筋神経	鎖骨の下制		
		筋	起始	停止	支配神経	作用	R	A																																		
		僧帽筋	後頭骨~T12 棘突起, 項靭帯	肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨	副神経 頸神経叢	上方回旋 など																																				
		三角筋	肩甲骨 (肩甲棘~肩峰) と鎖骨	上 三角筋粗面	腋窩神経	肩関節 外転, 屈曲, 伸展																																				
烏口腕筋*	烏口突起	内側縁	筋皮神経	屈曲																																						
鎖骨下筋	第 1 肋骨	鎖骨	鎖骨下筋神経	鎖骨の下制																																						
R: ローテーターカフ (回旋筋腱板) を形成する筋																																										
A: 腋窩に含まれる筋																																										
* 烏口腕筋は肩関節の運動に働くため本表に記載しているが, 上腕の筋に分類される.																																										

60	図 2-57	肩甲骨の動き	「背面」のイラストを下図に差し替え	
64	表 2-7	上腕の筋	(上腕筋・停止) 尺骨上端	(上腕筋・停止) 尺骨粗面 (表の下部に注を追加) *烏口腕筋は上腕の筋に分類されるが、肩関節のみの運動に働くため、表 2-6 に記載している。
67	2	(4) 手の筋	手の骨に起始と停止がある筋肉を手内在筋 <small>しゅないざいきん</small> といい、…	手の骨に起始と停止がある筋肉を手の内在筋 <small>てのないざいきん</small> (手内筋)といい、
73	表 2-12	大腿の筋	(伸筋・停止) 膝外靭帯 (屈筋・停止) 脛骨 内側果	(伸筋・停止) 膝蓋靭帯 (屈筋・停止) 脛骨 内側顆
75	表 2-13	下腿の筋	(下腿三頭筋・起始) 下線部を追加 (足底筋 膝窩筋・起始) 大腿骨 外側上果	(下腿三頭筋・起始) 腓腹筋：大腿骨内側上顆・外側上顆 (足底筋 膝窩筋・起始) 大腿骨 外側上顆
76	2	(4) 足の筋	下線部を追加	足の骨に起始と停止がある筋肉を足の内在筋 <small>あしのないざいきん</small> という。…
	4		下線部を追加	…小趾球筋 <small>しょうしきゅうきん</small> (短小趾屈筋 <small>たんしょうしきくきん</small> 、小趾外転筋 <small>しょうしがいせんきん</small> 、小趾対立筋 <small>しょうしたいりきん</small>)、
	表 2-14	足の筋	(筋) 下線部を追加	(筋) 足背の筋群 足底の筋群
77	3	4-頭頸部の筋	下線部を追加	照 <small>じょう</small> 、上眼瞼挙筋 <small>じょうがんけんきよきん</small> や外眼筋のように目周囲にある筋…
79	図 2-74	頸部の筋	オトガイ骨舌筋 (深層)	オトガイ骨舌筋 (深層)
	9	(3) 頸部の筋	下線部を追加	…副神経と頸神経叢の支配を受ける。片側の収縮で…

81		キーワード	(キーワード2行目) 情報伝達……(中略)……感覚神経	(キーワード2行目) 伝達……(中略)……感覚神経・ <u>神経叢</u>
90	図3-13	大脳皮質の機能局在	下図に差し替え	
93	図3-16	間脳の構造	第3脳室脈絡膜	第3脳室脈絡叢
96	図3-18	小脳の構造	小脳半球(灰白質) 虫部(灰白質) 小脳核	小脳半球 虫部 小脳核(灰白質)
100	5	C 伝導路と運動調節	5行目見出しの次に以下の文章を追加 脊髄内を走行する神経伝導路には、脳からの情報を送る下行路と、脳への情報を送る上行路がある。	
105	下から4	(2) 姿勢反射	①前庭頸反射：…	①前庭脊髄反射：…
107	図3-28	末梢神経系の分類	「B 感覚神経節」のイラストを下図に差し替え(末梢側の「<」を削除) 	
114	2	(2) 脊髄神経の走行	肘の後面を通過して、前腕と手の屈筋群や手掌の皮膚などに分布する。橈骨神経は上腕の背面	肘の後面を通過して、尺側手根屈筋と深指屈筋、多くの手の筋と、手掌と手背の尺側の皮膚に分布する。正中神経は円回内筋の2頭間を通過して、尺側手根屈筋以外の前腕屈筋、一部の手の筋と、手掌の橈側の皮膚に分布する。橈骨神経は上腕の背面
9	⑤仙骨神経叢の枝(L4~S5)：…		⑤仙骨神経叢の枝(L4~S4)：…	

116	下から 2	(5) 腕神経叢	腕神経叢は腋窩に達する前に、鎖骨上部では長胸神経など、鎖骨上部では肩甲背神経、…	下線部を削除																																									
	表 3-5	脊髄神経の前枝の分布	下表に差し替え																																										
<p>表3-5 脊髄神経の前枝の分布 特に重要な項目は赤字で示す</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;">起始</th> <th style="width:40%;">主な神経</th> <th style="width:50%;">分布</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C1～C4</td> <td>頸神経叢を形成 横隔神経などを分枝</td> <td>筋枝：頸部の筋，横隔神経からは横隔膜 皮枝：頸部，肩の皮膚</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">C5～T1</td> <td colspan="2">腕神経叢を形成</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な分枝</td> <td>筋皮神経</td> <td>筋枝：上腕屈筋群 皮枝：前腕の外側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>腋窩神経</td> <td>筋枝：三角筋，小円筋 皮枝：上腕上部外側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>橈骨神経</td> <td>筋枝：すべての上肢伸筋 皮枝：上肢背側，手背の母指側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>正中神経</td> <td>筋枝：前腕および手の屈筋群 皮枝：手掌の母指側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>尺骨神経</td> <td>筋枝：前腕の一部の屈筋および手の筋 皮枝：手掌と手背の小指側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>T1～T12</td> <td>肋間神経 (神経叢を作らない)</td> <td>筋枝：肋間筋，腹筋 皮枝：胸部から腹部にかけての皮膚</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T12～L4</td> <td colspan="2">腰神経叢を形成</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な分枝</td> <td>大腿神経</td> <td>筋枝：大腿の伸筋群 皮枝：大腿前面，下腿内側の皮膚</td> </tr> <tr> <td>閉鎖神経</td> <td>筋枝：大腿内転筋群 皮枝：大腿内側の皮膚</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">L4～S4</td> <td colspan="2">仙骨神経叢を形成</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な分枝 坐骨神経の枝</td> <td>坐骨神経</td> <td>筋枝：大腿の屈筋群</td> </tr> <tr> <td>総腓骨神経</td> <td>筋枝：下腿前面と外側，足背の筋 皮枝：下腿前面と外側，足背の皮膚</td> </tr> <tr> <td>脛骨神経</td> <td>筋枝：下腿後面および足底の筋 皮枝：下腿後面および足底の皮膚</td> </tr> </tbody> </table>					起始	主な神経	分布	C1～C4	頸神経叢を形成 横隔神経などを分枝	筋枝：頸部の筋，横隔神経からは横隔膜 皮枝：頸部，肩の皮膚	C5～T1	腕神経叢を形成		主な分枝	筋皮神経	筋枝：上腕屈筋群 皮枝：前腕の外側の皮膚	腋窩神経	筋枝：三角筋，小円筋 皮枝：上腕上部外側の皮膚	橈骨神経	筋枝：すべての上肢伸筋 皮枝：上肢背側，手背の母指側の皮膚	正中神経	筋枝：前腕および手の屈筋群 皮枝：手掌の母指側の皮膚	尺骨神経	筋枝：前腕の一部の屈筋および手の筋 皮枝：手掌と手背の小指側の皮膚	T1～T12	肋間神経 (神経叢を作らない)	筋枝：肋間筋，腹筋 皮枝：胸部から腹部にかけての皮膚	T12～L4	腰神経叢を形成		主な分枝	大腿神経	筋枝：大腿の伸筋群 皮枝：大腿前面，下腿内側の皮膚	閉鎖神経	筋枝：大腿内転筋群 皮枝：大腿内側の皮膚	L4～S4	仙骨神経叢を形成		主な分枝 坐骨神経の枝	坐骨神経	筋枝：大腿の屈筋群	総腓骨神経	筋枝：下腿前面と外側，足背の筋 皮枝：下腿前面と外側，足背の皮膚	脛骨神経	筋枝：下腿後面および足底の筋 皮枝：下腿後面および足底の皮膚
起始	主な神経	分布																																											
C1～C4	頸神経叢を形成 横隔神経などを分枝	筋枝：頸部の筋，横隔神経からは横隔膜 皮枝：頸部，肩の皮膚																																											
C5～T1	腕神経叢を形成																																												
	主な分枝	筋皮神経	筋枝：上腕屈筋群 皮枝：前腕の外側の皮膚																																										
		腋窩神経	筋枝：三角筋，小円筋 皮枝：上腕上部外側の皮膚																																										
		橈骨神経	筋枝：すべての上肢伸筋 皮枝：上肢背側，手背の母指側の皮膚																																										
		正中神経	筋枝：前腕および手の屈筋群 皮枝：手掌の母指側の皮膚																																										
尺骨神経		筋枝：前腕の一部の屈筋および手の筋 皮枝：手掌と手背の小指側の皮膚																																											
T1～T12	肋間神経 (神経叢を作らない)	筋枝：肋間筋，腹筋 皮枝：胸部から腹部にかけての皮膚																																											
T12～L4	腰神経叢を形成																																												
	主な分枝	大腿神経	筋枝：大腿の伸筋群 皮枝：大腿前面，下腿内側の皮膚																																										
		閉鎖神経	筋枝：大腿内転筋群 皮枝：大腿内側の皮膚																																										
L4～S4	仙骨神経叢を形成																																												
	主な分枝 坐骨神経の枝	坐骨神経	筋枝：大腿の屈筋群																																										
		総腓骨神経	筋枝：下腿前面と外側，足背の筋 皮枝：下腿前面と外側，足背の皮膚																																										
脛骨神経		筋枝：下腿後面および足底の筋 皮枝：下腿後面および足底の皮膚																																											
117	下から 6	(5) 腕神経叢	下線部を追加	…上腕動脈とともに内側上腕二頭筋溝を下行して…																																									
119	10	(8) 仙骨神経叢	…第 5 仙骨神経 (L4～S5)	…第 5 仙骨神経 (L4～S4)																																									
	下から 13		下線部を追加	骨盤底筋(会陰筋)に分布，皮枝は殿部，…																																									
121	下から 6	(1) 自律神経系の特徴	…交感神経節前神経と副交感神経の節前・節後神経終末とから放出される…	…交感神経節前神経と，副交感神経の節前・節後神経から放出される…																																									

122	表 3-7	交感神経系 迷 心路 と副交感神経系 迷 心路の働き	タイトルを変更し下表に差し替え																																							
		表 3-7 交感神経系と副交感神経系																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>作用</th> <th>交感神経系</th> <th>副交感神経系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>眼</td> <td>瞳孔散大筋の収縮 (散瞳)</td> <td>瞳孔括約筋の収縮 (縮瞳) 毛様体筋の収縮 (近くを見る)</td> </tr> <tr> <td>唾液腺</td> <td>分泌</td> <td>分泌</td> </tr> <tr> <td>心 臓</td> <td>心拍数増加・心筋の収縮力増加</td> <td>心拍数減少</td> </tr> <tr> <td>血 圧</td> <td>上昇 (心機能亢進と血管収縮による)</td> <td>低下 (心拍数減少による)</td> </tr> <tr> <td>気管支</td> <td>平滑筋弛緩 (気管支拡張)</td> <td>平滑筋収縮・気管支腺の分泌亢進</td> </tr> <tr> <td>消化管</td> <td>平滑筋弛緩・消化液の分泌抑制</td> <td>平滑筋収縮・消化液の分泌亢進</td> </tr> <tr> <td>直腸・膀胱</td> <td>平滑筋弛緩・ただし括約筋は収縮</td> <td>平滑筋収縮・ただし括約筋は弛緩</td> </tr> <tr> <td>血 糖</td> <td>上昇 (グリコーゲン分解)</td> <td>低下 (グリコーゲン合成)</td> </tr> <tr> <td>副腎髄質</td> <td>カテコールアミン分泌</td> <td rowspan="3">分布しない</td> </tr> <tr> <td>汗 腺</td> <td>分泌</td> </tr> <tr> <td>立毛筋</td> <td>収縮</td> </tr> <tr> <td>血 管</td> <td>収縮 (ただし骨格筋では拡張)*</td> <td>ほとんど分布しない</td> </tr> </tbody> </table>				作用	交感神経系	副交感神経系	眼	瞳孔散大筋の収縮 (散瞳)	瞳孔括約筋の収縮 (縮瞳) 毛様体筋の収縮 (近くを見る)	唾液腺	分泌	分泌	心 臓	心拍数増加・心筋の収縮力増加	心拍数減少	血 圧	上昇 (心機能亢進と血管収縮による)	低下 (心拍数減少による)	気管支	平滑筋弛緩 (気管支拡張)	平滑筋収縮・気管支腺の分泌亢進	消化管	平滑筋弛緩・消化液の分泌抑制	平滑筋収縮・消化液の分泌亢進	直腸・膀胱	平滑筋弛緩・ただし括約筋は収縮	平滑筋収縮・ただし括約筋は弛緩	血 糖	上昇 (グリコーゲン分解)	低下 (グリコーゲン合成)	副腎髄質	カテコールアミン分泌	分布しない	汗 腺	分泌	立毛筋	収縮	血 管	収縮 (ただし骨格筋では拡張)*	ほとんど分布しない
		作用	交感神経系	副交感神経系																																						
		眼	瞳孔散大筋の収縮 (散瞳)	瞳孔括約筋の収縮 (縮瞳) 毛様体筋の収縮 (近くを見る)																																						
		唾液腺	分泌	分泌																																						
		心 臓	心拍数増加・心筋の収縮力増加	心拍数減少																																						
		血 圧	上昇 (心機能亢進と血管収縮による)	低下 (心拍数減少による)																																						
		気管支	平滑筋弛緩 (気管支拡張)	平滑筋収縮・気管支腺の分泌亢進																																						
		消化管	平滑筋弛緩・消化液の分泌抑制	平滑筋収縮・消化液の分泌亢進																																						
		直腸・膀胱	平滑筋弛緩・ただし括約筋は収縮	平滑筋収縮・ただし括約筋は弛緩																																						
		血 糖	上昇 (グリコーゲン分解)	低下 (グリコーゲン合成)																																						
副腎髄質	カテコールアミン分泌	分布しない																																								
汗 腺	分泌																																									
立毛筋	収縮																																									
血 管	収縮 (ただし骨格筋では拡張)*	ほとんど分布しない																																								
*皮膚や粘膜, 内臓の血管平滑筋には α 受容体が多く分布し, 交感神経で収縮する. 骨格筋の血管平滑筋には β 受容体が多く分布し, 交感神経で副腎髄質から放出されたアドレナリンの作用によって拡張する.																																										
下から 6		②交感神経系の分布と作用：…	下線部を削除																																							
下から 3~1	(2) 交感神経系	下から 3 行目~下から 1 行目を以下の文章に差し替え																																								
<p>③交感神経系の作用：以下の反応により, 活動に適した状態をつくる.</p> <p>i) 散瞳：瞳孔散大筋が収縮して散瞳し, 眼球に入る光を増やす (第 4 章参照).</p> <p>ii) 心機能の亢進：心筋の収縮力は増強し, 心拍数は上昇する. 血管の収縮も加わって, 血圧が上昇する (第 5 章参照).</p> <p>iii) 気管支の拡張：気管支平滑筋が弛緩し, 肺の酸素の取り込みが増える.</p> <p>iv) 消化機能の低下：胃腸の平滑筋は弛緩し, 消化管運動は抑制, 消化液の分泌も抑制される.</p> <p>v) 排便・排尿の抑制：直腸壁の筋が弛緩し, 内肛門括約筋が収縮して, 排便を抑える (第 9 章参照). 排尿筋が弛緩し, 内尿道括約筋が収縮して, 排尿を抑える (第 8 章参照).</p> <p>vi) 血糖上昇：肝臓でグリコーゲン分解を促して血糖を上昇させる. 膵臓ではインスリン分泌が抑制される.</p> <p>vii) 血管平滑筋の収縮：多くの血管では血管平滑筋は収縮して血流は低下し, 血圧が上昇する. 骨格筋では血流は増加する.</p> <p>viii) 汗腺と立毛筋：発汗の促進し, 毛を逆立てる. 交感神経のみの支配を受ける.</p> <p>ix) 副腎髄質：カテコールアミン分泌を促す (第 10 章参照).</p>																																										
123	3	(3) 副交感神経系	…副交感神経を骨盤神経 (または骨盤内臓神経) という. …	下線部を削除																																						
	6		②副交感神経系の分布と作用：…	下線部を削除																																						

123	下から 10～8	(3) 副交感神経系	下から 10 行目～下から 8 行目を以下の文章に差し替え
<p>③副交感神経系の作用：以下の反応により，休息や栄養補給に適した状態をつくる。</p> <p>i) 縮瞳と毛様体筋収縮：瞳孔括約筋が収縮して縮瞳し，眼球に入る光を減らす．毛様体筋が収縮し，近くの物にピントが合う．</p> <p>ii) 心筋活動の抑制：心拍数が低下し，血圧が低下する．</p> <p>iii) 気管支平滑筋の収縮：気管支が収縮し，肺の酸素の取り込みが低下する．また気管支腺からの分泌が増える．</p> <p>iv) 消化機能の亢進：胃腸の平滑筋は収縮し，腸蠕動など消化管運動は亢進，消化液の分泌も増加する．</p> <p>v) 排便・排尿の抑制：直腸壁の筋が収縮し，内肛門括約筋が弛緩して，排便を促す．排尿筋が収縮し，内尿道括約筋が弛緩して，排尿を促す．</p> <p>vi) 血糖低下：肝臓でグリコーゲン合成を促して血糖を低下させる．膵臓ではインスリン分泌が亢進する．</p> <p>vii) 様々な腺分泌の亢進：涙腺，気管支腺，消化腺など多くの外分泌腺の分泌を促進する．</p>			
124	下から 5～4	(6) 自律神経系の中 枢	…生殖などの本能行動様式の統合 中枢でもある．…
126	表 4-1	感覚の種類	(表内 6 行目) 甘い，塩辛いなど (表内 7 行目) 下線部を追加 皮膚，粘膜
138	図 4-19	味蕾	味蕾
141	20	(2) 皮膚の付属器 官	下線部を追加 …毛幹という．毛根の底部の毛球 で細胞が…
145	4	(2) 痛覚伝導路	…伝えられる (図 3-22)．… …伝えられる (図 3-23)．…
150	図 5-4	心臓の弁	<p>下図に差し替え</p> <p>図 5-4 心臓の弁 心臓の横断面を真上から見た図</p>
154	15	(3) 静脈	…中心静脈圧は，正常で <u>2</u> ～ <u>4</u> mmHg であり，…
163	下から 6	(3) 脳循環	…内頸動脈は後大脳動脈と後交通 動脈によって連絡され，…

165	図 5-21	腹腔内循環	「B」のイラストを下図に差し替え	
166	図 5-23	上肢の動静脈	(A) 深手掌動脈弓 浅手掌動脈弓	(A) 下線部を削除
170	図 5-27	血圧に影響を与える因子	図下部の「間質液」「細胞」ならびにそれぞれ該当するイラスト部分を削除	
180	下から 6	(1) 血小板	「巨核芽球」のふりがなを「きよかくがきゅう」に修正	
193	図 7-3	鼻腔の構造	鼻涙管の開口部	耳管咽頭口
195	下から 2	(5) 気管と気管支	細く長く <u>傾斜も大きい</u> 。このため…	細く、長く、 <u>分岐角度が大きい</u> (つまり <u>水平に近い</u>)。このため…
196	図 7-8	喉頭, 気管と気管支	図注として「軟骨を薄赤色で示す」の文章を追加	
208	4		…舌の下面の正中中部は舌小体に…	…舌の下面の正中中部は舌小帯に…
209	5~7	(1) 口腔の構造と機能	…最大の唾液腺で、舌下腺は口腔底の粘膜下、顎下腺は下顎骨の下にある。	…最大の唾液腺で、その導管は上顎の口腔前庭の頬粘膜に開口する。舌下腺は口腔底の粘膜下、顎下腺は下顎骨の下に位置し、両者の導管は口腔底に開口する。
	下から 12		…咀嚼や嚥下を <u>しやすくする</u> 。口腔粘膜を保護	…咀嚼や嚥下を <u>助け</u> 、口腔粘膜を保護
210	図 8-7	嚥下運動	(B 咽頭相の下の図) 舌根の挙上 軟口蓋の挙上	(B 咽頭相の下の図) 軟口蓋の挙上 舌根の挙上 ※右上の囲みが「軟口蓋の挙上」、左上の囲みが「舌根の挙上」となる
212	図 8-9	胃腺の構造	下線部を追加	図 8-9 <u>胃壁と胃腺の構造</u>
220	1	(4) 排便	…腰仙髄や橋の排便中枢に伝えられる。…	下線部を削除
	下から 2		下線部を追加	直腸壁の伸展の情報は脳皮質にも送られ、排便中枢は通常では脳からの抑制を受けている。…

220	表 8-1	排便に関わる筋と神経	下表に差し替え			
			筋の種類	主な支配神経	排便時	排便を我慢
		直腸壁の筋	平滑筋	副交感神経(骨盤神経)	収縮	弛緩*
		内肛門括約筋	平滑筋	交感神経(下腹神経)	弛緩*	収縮
		外肛門括約筋	骨格筋	体性運動神経(陰部神経)	弛緩*	収縮
		*直腸壁の筋は骨盤神経の活動亢進で収縮, 活動低下で弛緩する。交感神経の支配も受ける。 内肛門括約筋は下腹神経の活動亢進で収縮, 活動低下で弛緩する。副交感神経の支配も受ける。 外肛門括約筋は陰部神経の活動亢進で収縮, 活動低下で弛緩する。				
	図 8-17	排便反射の神経回路の模式図	下図に差し替え			

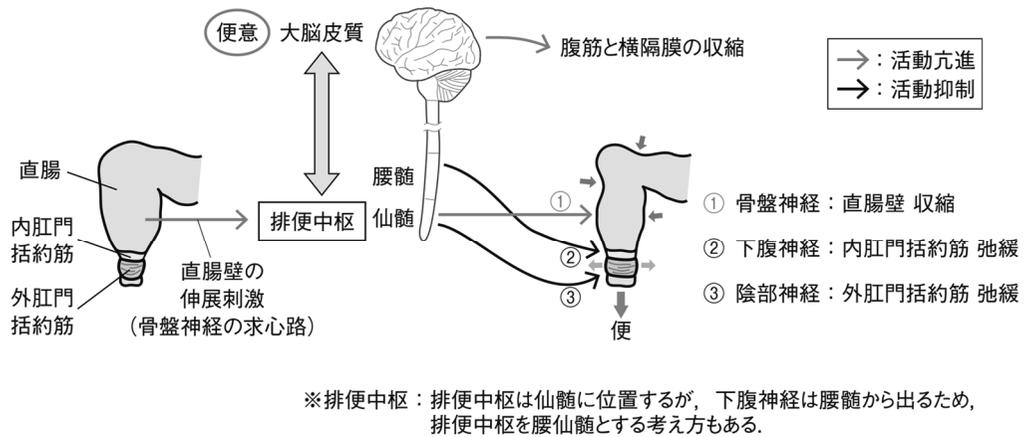


図 8-17 排便反射の神経回路の模式図

221	8	(1) 膀胱の構造	下線部を追加	…を分泌する (第 10 章参照). ランゲルハンス島は膵尾部に多い。
224	10	8-腹膜と腹膜腔	…女性では直腸子宮窩と膀胱直腸窩という窪みを作る. …	…女性では直腸子宮窩と膀胱子宮窩という窪みを作る. …
	図 8-21	腹膜	「B」のイラスト左側に「右」, 右側に「左」の文字を追加	
227	9	(2) 糖質の代謝	下線部を追加	…1モルのグルコースから最大 38モルの ATP が得られ,
	図 8-24	内呼吸の経路	下線部を追加	(約 266 kcal) (約 420 kcal)
231	10	6-ミネラル	…主要な陽イオンで, …	下線部を削除
233		学習の指針	「B. 排尿」の 3) ~6) を以下の文章に差し替え	
3) 内尿道括約筋は交感神経の働きで収縮する。				
4) 外尿道括約筋は運動神経によって随意的に支配される。				
5) 蓄尿時には交感神経の活動が亢進し, 排尿時には副交感神経の活動が亢進する。				
6) 排尿時には仙髄と脳幹の排尿中枢が働き, 排尿筋の収縮, 尿道括約筋の弛緩が起こる。				
233		同義語	「同義語」の 2 行目~3 行目を以下の文章に差し替え	
内尿道括約筋=膀胱括約筋 骨盤神経=骨盤内臓神経 体液=細胞外液				

234	下から 8	(1)腎臓の機能	下線部を追加	からなる。腎錐体の間の皮質を腎柱 <small>じんちゅう</small> という。腎臓の内側中央部からは…
235	図 9-4	ネフロンの様式図	図内左下の「小葉間動脈」(「髓質」の右隣)を「小葉間静脈」に修正(図内右下、「集合管」上の「小葉間動脈」はそのまま)	
239	図 9-9	体液の pH 調節の様式図	H_2CO_2 (炭酸)	H_2CO_3 (炭酸)
241	6~7	3-尿道の構造と機能	尿道起始部の平滑筋は肥厚して膀胱括約筋(内尿道括約筋)を形成する。尿道の末梢側には、横紋筋よりなる尿道括約筋(外尿道括約筋)がある。	尿道起始部の平滑筋は肥厚して内尿道括約筋(膀胱括約筋)を形成する。尿道の末梢側には、横紋筋よりなる外尿道括約筋がある。
	下から 3~2	4-膀胱と尿道の神経支配	…弛緩する。膀胱括約筋も平滑筋で、交感神経の下腹神経によって収縮する。尿道括約筋は…	…弛緩する。内尿道括約筋も平滑筋で、交感神経の下腹神経によって収縮する。外尿道括約筋は…
	図 9-12	膀胱と尿道の神経支配の様式図	下図に差し替え	

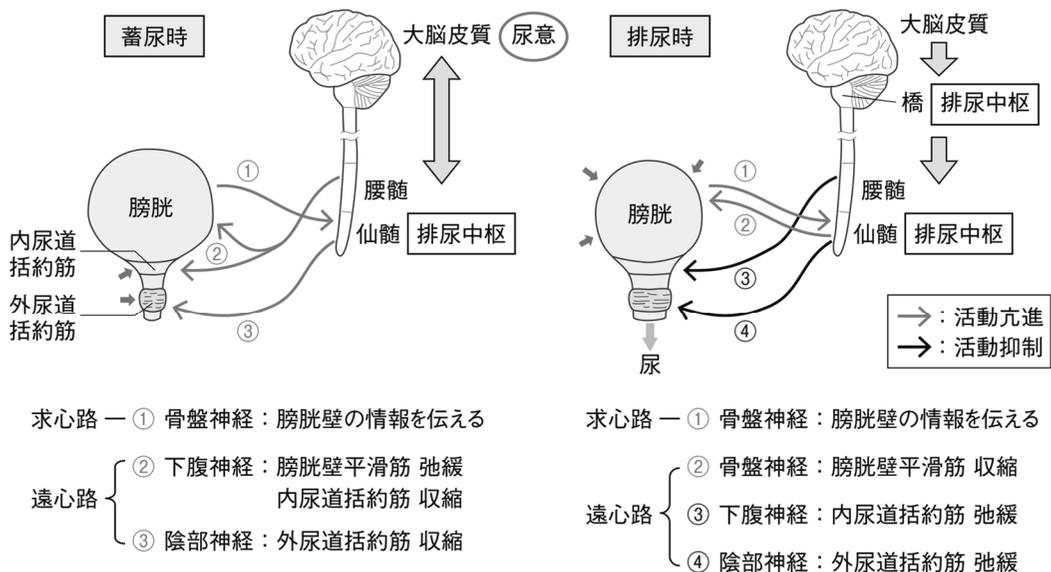


図 9-12 膀胱と尿道の神経支配の様式図

242	242 ページを本冊子 41 頁に差し替え (表の差し替え, 本文の入れ替え・修正)			
251	図 10-7	血漿 Ca^{2+} 濃度の調節	(図内右上) 副甲状腺からの副甲状腺ホルモン	(図内右上) 副甲状腺からのパラソルモン

254	図 10-11	レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系	下図に差し替え
-----	---------	-----------------------	---------

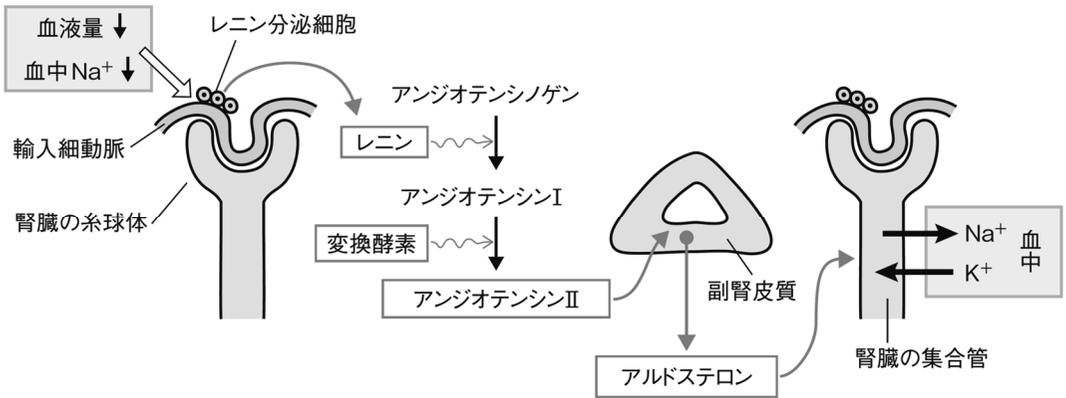


図 10-11 レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系

255	13	(4) 副腎髄質：カテコールアミン	iv) 中枢神経系に対する覚醒作用	下線部を削除
	図 10-12	アドレナリンとノルアドレナリン	図下部の「中枢神経系の刺激」と矢印を削除 (下部分図参照)	 <p>図 10-12 アドレナリンとノルアドレナリン³⁾</p>
259	下から 1	5-体温調節反応	下線部を追加	らされる。体温が 41°C を超えると...
261		同義語	(同義語 3 行目) 男性ホルモン = <u>テストステロン</u> (同義語 5 行目) 下線部を追加	(同義語 3 行目) アンドロゲン = <u>男性ホルモン</u> (同義語 5 行目) サーカディアンリズム = 概日リズム = 日内リズム
264	8	(3) 卵巣ホルモン	v) 骨吸収を抑制し骨形成を促進する。	v) 骨吸収を抑制し骨量を維持する。
268	9	(2) 男性ホルモン	(2) 男性ホルモン	(2) 精巣ホルモン
271	下から 4	(2) 卵膜、胎盤と臍帯	下線部を追加	が行われる。原則として、胎盤を通して...
273	12~15	(1) サーカディアンリズム	…または日内リズムという。日内リズムに同調して睡眠と覚醒、血圧、体温、ホルモン分泌などが変動する。	…または概日リズムという。視床下部に体内時計として働く神経細胞群が存在し、睡眠と覚醒、血圧、体温、ホルモン分泌などのサーカディアンリズムを制御する。
	下から 16~14		②体温 ：体温は規則正しい日内リズムを示す。夜間から...	下線部を削除

273	下から 13~12	(1) サーカディア ンリズム	…その差は <u>0.5~0.7°C</u> である. …	…その差は約 <u>1°C以内</u> である. …
274	下から 5	(3) 生理的な加齢 変化	(3) 生理的な加齢変化 (図 11-14) 下線部を削除	
275	図 11-14	生理機能の加齢変 化	図を削除	
	2	(3) 生理的な加齢 変化	伝導速度も <u>やや低下する</u> . 高次神 経機能は…	伝導速度の低下は <u>少ない</u> . 高次神 経機能は…
	下から 8		下線部を追加	…胃液の分泌量が低下する. <u>腸の 蠕動運動の低下や腹筋の低下, 排 便反射の低下などにより便秘がち となる. また嚥下機能が低下し, 誤嚥を生じやすくなる.</u>
下から 4~3	…メラトニンの分泌は加齢に伴い 低下する. <u>カテコールアミンや副 甲状腺ホルモンの分泌は加齢に伴 い上昇する傾向がある.</u>	下線部を削除		
285	図 12-11	伸筋の腱区画	図左の「長母指伸筋腱」(長母指外転筋腱の下)を「短母指伸筋腱」に 修正 (図下, 「示指伸筋腱」の上の「長母指伸筋腱」はそのまま)	
289	表 12-11	障害を生じやすい 膝周囲の停止腱	(表内最下行) 下線部を追加	(表内最下行) 大腿筋膜張筋・大殿筋
290	図 12-22	足首の筋支帯	(B) 脛骨神経腱	(B) 下線部を削除
291	図 12-23	顔面と頸部の体表 解剖	上のイラストを下図に差し替え	
292	下から 2	(2) 頸部深層の局 所解剖	…後頭部の深層には, 椎骨動脈や 大 後頭神経が通る…	…後頭部の深層には, 椎骨動脈や 後頭下神経が通る

表9-3 排尿と蓄尿に関わる筋と神経

	筋の種類	支配神経	排尿時	蓄尿時
膀胱壁の筋	平滑筋	副交感神経(骨盤神経)	収縮	
		交感神経(下腹神経)		弛緩
内尿道括約筋	平滑筋	交感神経(下腹神経)	弛緩*	収縮
外尿道括約筋	骨格筋	体性運動神経(陰部神経)	弛緩*	収縮

*内尿道括約筋は下腹神経の活動亢進で収縮，活動低下で弛緩する。

外尿道括約筋は陰部神経の活動亢進で収縮，活動低下で弛緩する。

5—蓄尿と排尿(図9-12, 表9-3)

膀胱に尿を蓄えることを蓄尿^{ちくじょう}，尿を体外に出すことを排尿^{はいじょう}という。蓄尿も排尿も反射性に調節される部分が多い。蓄尿時には交感神経である下腹神経の活動が亢進し，排尿時には副交感神経である骨盤神経の活動が亢進する。

乳児期を過ぎる頃から徐々に排尿を我慢し，排尿をしようとしたときに，陰部神経の活動を随意的に低下させて排尿をするようになる。この調節は大脳皮質よりの指令によって行われる。蓄尿と排尿の随意的な制御が行われない場合には，失禁が起こる。

(1) 蓄尿

膀胱はある量に達するまで蓄尿できる。膀胱に尿が貯留し始めると，膀胱壁が伸展しその情報は骨盤神経の求心路を通して仙髄の排尿中枢に伝えられる。すると反射性に下腹神経の活動が高まって膀胱を弛緩させ，内尿道括約筋を収縮させる。そのため，膀胱内圧があまり上昇せずにある程度の尿を貯めることができる。

同時に，陰部神経活動が高まり，尿道括約筋を収縮させ，尿がもれ出るのを抑える。膀胱内の尿量が150～300mLくらいになると尿意を感じるようになるが，通常は，大脳皮質からの指令で陰部神経が働き，尿道括約筋の収縮が強まり，排尿を抑える。

(2) 排尿反射

膀胱内容量が400mL程度になると尿意が高まり，仙髄および橋にある排尿中枢を介して骨盤神経を興奮させ，膀胱壁の排尿筋は強力に収縮する。同時に下腹神経と陰部神経の活動は低下し，内尿道括約筋と外尿道括約筋が弛緩して排尿が起こる。

『臨床医学総論』

頁	行	項目	第2版第16刷(2024年1月) 該当箇所	第2版第17刷(2025年1月) 修正
6	3	2) 身体診察	たとえば胆石症に対して <u>内視鏡</u> 手術を行う場合、…	たとえば胆石症に対して <u>腹腔鏡</u> 下手術を行う場合、…
13	6	5) 既往歴	…出生時の状況、 <u>幼小時期</u> の健康状態、発育状態、…	…出生時の状況、 <u>幼小児期</u> の健康状態、発育状態、…
14	8	7) 家族歴	…精神神経疾患、 <u>奇形</u> 、内分泌疾患、…	…精神神経疾患、 <u>先天異常</u> 、内分泌疾患、…
25	下から2	(2) 心音	…これらの異常は、 <u>先天性心奇形</u> 、弁膜症、不整脈などの…	…これらの異常は、 <u>先天性心疾患</u> 、弁膜症、不整脈などの…
30	図3-1	特徴的な熱型	⑤周期熱 マラリア (三日熱、四日熱) <u>ステロイド熱</u>	下線部を削除
32	下から3	1) 正常脈拍	<u>乳幼児は約120/分、3歳までは100/分以上で、以降だいに減少する。睡眠中は…</u>	<u>一般に小児や若年者では脈拍数は多く、新生児は140~180/分、乳児は120~140/分、幼児は100~110/分程度である。睡眠中は…</u>
34	下から6	1) 測定法	下線部を追加	…拍動に一致して音(<u>コロトコフ音</u>)が聴こえるようになる…
57	13	② チアノーゼ	…先天性心疾患、肺疾患、 <u>右心不全</u> 、末梢循環不全、	下線部を削除
78	下から9	(2) 変形	外傷や <u>先天奇形</u> で鼻が変形…	外傷や <u>先天異常</u> で鼻が変形…
84	4	(5) 斜頸	<u>奇形</u> 、神経疾患、…	<u>変形</u> 、神経疾患、…
89	下から3	(5) 心雑音	患・ <u>先天性心奇形</u> では、…	患・ <u>先天性心疾患</u> では、…
98	14	① 先天性側彎	<u>せつ(けつ)</u> …(楔状椎など)…	<u>けつ(せつ)</u> …(楔状椎など)…
114	下から7	2) 反射検査の方法と注意事項	…上腕二頭筋反射などでは、 <u>検査</u> の母指	…上腕二頭筋反射などでは、 <u>検査</u> の母指
142	下から4	1) 概要	③ 治療計画の <u>樹立</u> に対する…	③ 治療計画の <u>立案</u> に対する…
156	12	3. 小児の診察	乳児期の死亡は、 <u>先天奇形</u> ・出生時損傷など…	乳児期の死亡は、 <u>先天異常</u> ・出生時損傷など…
165	8~9	(1) 総蛋白、アルブミン、蛋白分画、A/G比	下線部を追加	…総蛋白の約 <u>55±5%</u> (3.8~4.8g/dl)、 <u>α₁-グロブリン</u> 約2~5.2%、 <u>α₂-グロブリン</u> 約6~10%、 <u>β-グロブリン</u> 約9~12%、 <u>γ-グロブリン</u> 約15~20%である。…
176	表	血液生化学検査	下線部を追加	<u>γGT(γGTP)*</u>
192	下から5	(5) 検査と鑑別診断	下線部を追加	…精密聴力検査、 <u>脳CT検査</u> 、 <u>脳MRI検査</u> 、…

200	図 10-10	動悸の診察の進め方	慢性肺閉塞性疾患	慢性閉塞性肺疾患
215	図 10-18	1日当たりの水の出納	下線部を追加	(図タイトル) 1日当たりの水の出納(概数)
227	下から4	(5) 検査と鑑別診断	下線部を追加	上肢エックス線検査, CT検査, MRI検査などで…
230	表 10-20	関節痛の原因疾患	(表内右列2行目) 筋膜炎, 再発性多発軟骨症, 全身性エリテマトーデス, …	(表内右列2行目) 筋膜炎, 再発性多発軟骨炎, 全身性エリテマトーデス, …
	下から2	(5) 検査と鑑別診断	下線部を追加	…エコー検査, CT検査, MRI検査, シンチグラフィ,
244	表 10-28	発疹の種類と特徴	(紫斑の項) 点状出血, 大きいもの(1~5cm径)を溢血斑という	(紫斑の項) 点状出血斑, 大きいもの(1~5cm径)を斑状出血斑という
245	表 10-29	発疹の性状と皮膚疾患	(紅斑の項) …皮膚筋炎, 多型滲出性紅斑, …	(紅斑の項) …皮膚筋炎, 多形滲出性紅斑, …
246	6	(3) 分類および原因疾患	下線部を追加	…発疹が生じる(続発疹)こともある(58頁).
253	下から10	(3) 分類および原因疾患	口腔内乾燥感は、口呼吸による…	下線部(ルビ)を削除
281	9	1) 面接法	…下記のような事柄を問診し, …	…下記のような事柄を聴取し, …
282	下から11	3) 人格(性格)検査	…対象に属するものとして知覚する機制)させて…	下線部を削除

『臨床医学各論』

頁	行	項目	第2版第21刷(2024年1月) 該当箇所	第2版第22刷(2025年1月) 修正
8	4~5	f. 細菌性食中毒	【疫学】2022年の細菌性食中毒発生は <u>258</u> 件、 <u>3,545</u> 人の患者数で、カンピロバクター、ウェルシュ菌、サルモネラ、ブドウ球菌が上位を占めている…	【疫学】2023年の細菌性食中毒発生は <u>311</u> 件、 <u>4,501</u> 人の患者数で、カンピロバクター、ウェルシュ菌、サルモネラ、 <u>腸管出血性大腸菌</u> 、ブドウ球菌が上位を占めている…
9	8~10		【経過・予後】ポツリヌス、ペロ毒素産生性病原性大腸菌食中毒を除けば一般に良好である。ポツリヌス中毒では、早期に抗毒素を投与しないと約1/3が死亡する。 <u>ペロ毒素産生性病原性大腸菌食中毒</u> では、 <u>溶血性尿毒症症候群</u> や…	【経過・予後】ポツリヌス、 <u>腸管出血性大腸菌食中毒</u> を除けば一般に良好である。ポツリヌス中毒では、早期に抗毒素を投与しないと約1/3が死亡する。 <u>腸管出血性大腸菌食中毒</u> では、 <u>溶血性尿毒症症候群</u> や…
12	5	b. 麻疹	下線部を追加	… <u>熱性発疹性疾患</u> である。 <u>空気感染</u> 、 <u>飛沫感染</u> 、 <u>接触感染</u> で感染し、 <u>感染力はきわめて強い</u> 。 <u>感染症法</u> で5類感染症
	8		…2019年には744人、 <u>2022</u> 年には <u>6</u> 人の報告であった…	…2019年には744人、 <u>2023</u> 年には <u>28</u> 人の報告であった…
	下から1		生後12~90カ月の間に弱毒生ワクチンを接種すると、…	生後12~24カ月、および5歳~7歳未満の者に計2回の定期接種として弱毒生ワクチンを接種すると、…
13	4	c. 風疹	下線部を追加	風疹ウイルスの <u>飛沫感染</u> によって発症する…
	8		<u>2022</u> 年には <u>15</u> 人である…	<u>2023</u> 年には <u>12</u> 人である…
16	4~5	f. 水痘・帯状疱疹	下線部を追加	帯状疱疹には発病初期にアシクロビル、バラシクロビルなど抗ウイルス薬を投与する。疼痛に対しては非ステロイド系抗炎症薬を使用する。 水痘の予防には弱毒生ワクチンが用いられる。帯状疱疹の予防には不活化ワクチンの遺伝子組換えワクチンまたは弱毒生水痘ワクチンが用いられる。
24	4~5	a. 食道癌	…死因第8位〔令和2(2020)年〕、女性は第16位(男 <u>8,978</u> 人、女 <u>2,003</u> 人)である。	…死因第8位〔令和4(2022)年〕、女性は第16位(男 <u>8,790</u> 人、女 <u>2,128</u> 人)である。
28	下から2~1	c. 胃癌	…悪性腫瘍の死因第2位(<u>27,771</u> 人)、女性では第5位(<u>14,548</u> 人)を占めている〔令和2(2020)年〕。検診の普及や…	…悪性腫瘍の死因第3位(<u>26,455</u> 人)、女性では第5位(<u>14,256</u> 人)を占めている〔令和4(2022)年〕。検診の普及や…

32	下から 8		85,000 人であったが、平成 30 (2018) 年では約 220,000 人の患者がおり、…	85,000 人であったが、令和元 (2019) 年では約 126,000 人の患者がおり、…
33	13	b. 潰瘍性大腸炎	下線部を追加	難治例もある。最近は血球成分除去療法、TNF α 阻害薬 (レミケード®など) やヤヌスキナーゼ阻害薬も用いられるようになっている。
	下から 9	c. クロウン病	…約 24,000 人、平成 30 (2018) 年では約 70,000 人	…約 24,000 人、令和元 (2019) 年では約 44,000 人
34	13~14	c. クロウン病	… (アザチオプリン) や TNF α 阻害薬を用いることもある。…	… (アザチオプリン)、TNF α 阻害薬やヤヌスキナーゼ阻害薬、抗インターロイキン阻害薬を用いることもある。…
36	12	f. 大腸癌	の死因第 3 位 (27,718 人)、女性では第 1 位 (24,070 人) を占めている [令和 2 (2020) 年]。	の死因第 2 位 (28,099 人)、女性では第 1 位 (24,989 人) を占めている [令和 4 (2022) 年]。
48	下から 4~3	f. 肝癌	【疫学】わが国では年間約 25,000 人の肝癌死亡者がおり、約 2:1 と男性に多い [令和 2 (2020) 年]。男性では悪性腫瘍の第 5 位、女性では第 6 位になっている。	【疫学】わが国では年間約 23,000 人の肝癌死亡者がおり、約 2:1 と男性に多い [令和 4 (2022) 年]。男性では悪性腫瘍の第 5 位、女性では第 7 位になっている。
52	下から 8	b. 胆嚢癌・総胆管癌	7 位 (9,357 人)、女性第 7 位 (8,416 人) [令和 2 (2020) 年]。	7 位 (9,470 人)、女性第 6 位 (8,286 人) [令和 4 (2022) 年]。
55	下から 4~3	c. 膵癌	…悪性腫瘍の第 4 位 (18,880 人)、女性が第 3 位 (18,797 人) となっており [令和 2 (2020) 年]、高齢男性に多いが、…	…悪性腫瘍の第 4 位 (19,608 人)、女性が第 3 位 (19,860 人) となっており [令和 4 (2022) 年]、高齢男性に多いが、…
69	11~12	a. 気管支喘息	…死亡者数は年々減少し、年間約 1,550 名の喘息死例 (2014 年データ) で、高齢者に多い。	…死亡者数は年々減少し、年間約 1,100 名の喘息死例 (2020 年データ) で、高齢者に多い。
75	1~2	b. 肺癌	は男性で第 1 位、女性で第 2 位である (2016 年)。現在、肺癌による死亡者数は 7 万 5 千人弱と報告されており (2016 年)、将来は…	は男性で第 1 位、女性で第 2 位である (2022 年)。現在、肺癌による死亡者数は 7 万 7 千人弱と報告されており (2022 年)、将来は…
78	8~9		下線部を追加	…手術可能症例は少なく、早期肺癌 (I~IIA 期) のみが手術適応となりうる。一方、
83	2	(2) 慢性糸球体腎炎	血尿および (あるいは) たんぱく尿が…	血尿および (または) たんぱく尿が…
86	2	a. 急性腎不全	…時間尿量にして 20ml 以下の乏尿や、	…時間尿量にして 0.5ml / 体重 kg 以下の乏尿や、
98	図 6-1	おもな内分泌腺	下線部を追加	上皮小体 (副甲状腺)

112	3~5	a. 糖尿病	【成因と病態生理】2型糖尿病は、 <u>遺伝性素因</u> に、 <u>栄養の過剰摂取</u> 、 <u>運動不足</u> などの環境因子が加わって発症する。中年以降の肥満者に多い。 1型糖尿病は、 <u>遺伝性素因</u> に、 <u>ウイルス感染</u> や…	【成因と病態生理】2型糖尿病は、 <u>遺伝的素因</u> に、 <u>栄養の過剰摂取</u> 、 <u>運動不足</u> などの環境因子が加わって発症する。中年以降の肥満者に多い。 1型糖尿病は、 <u>遺伝的素因</u> に、 <u>ウイルス感染</u> や…
119	表7-5	ビタミン欠乏症	(ナイアシン・欠乏症) ペラグラ (皮膚炎, 下痢, <u>痴呆</u>)	(ナイアシン・欠乏症) ペラグラ (皮膚炎, 下痢, <u>認知機能低下</u>)
208	下から11~10	a. 狭心症	…患者数は <u>91万1,000人</u> (2003年データ) で、 <u>現在も増加傾向にある</u> 。	患者数は <u>72万人</u> (2017年データ) で、 <u>35歳以上で加齢とともに患者数が増えている</u> 。
223	7~8	b. 巨赤芽球性貧血	…約1~5人の割合で起きると推定され、2012年度の調査では469例が登録されている。発症年齢の中央値は…	下線部を削除
224	表10-1	原因別にみた溶血性貧血の種類	(表内下から5行目) … <u>発作性寒冷色素尿症</u>	(表内下から5行目) … <u>発作性寒冷ヘモグロビン尿症</u>
226	6	d. 再生不良性貧血	<u>造血幹細胞の障害が原因となつて</u> 骨髄の低形成、…	<u>造血幹細胞の異常が原因で</u> 骨髄の低形成、…
232	下から2	a. 紫斑病	下線部を追加	<u>特発性血小板減少性紫斑病 (免疫性血小板減少性紫斑病)</u> は血小板に対する…
233	12		下線部を追加	【疫学】 <u>副腎皮質ステロイド薬</u> などを投与する。…
261	下から2	b. 進行性筋ジストロフィー	…歩行開始の遅延、 <u>規律</u> ・歩行の <u>生涯</u> 、 <u>上肢の拳上困難</u>	…歩行開始の遅延、 <u>起立</u> ・歩行の <u>障害</u> 、 <u>上肢の拳上困難</u>
276	下から10~9	a. 関節リウマチ	下線部を追加	… <u>免疫血清学検査</u> によるリウマトイド因子や抗CCP抗体が陽性、CRP陽性、…
	表12-2	関節リウマチの診断基準	(表内3行目) ● <u>手首</u> 、 <u>中手指節 (MCP)</u> ・ <u>近位指節間 (PIP)</u> 関節の腫脹…	(表内3行目) ● <u>手首</u> 、 <u>中手指節 (MCP)</u> 、 <u>近位指節間 (PIP)</u> 関節の腫脹…
295	7	(1) 出血と止血	…毛細管レベルもしくは <u>最小血管</u> からの出血で…	…毛細管レベルもしくは <u>細小血管</u> からの出血で…
311	下から1	b. 子宮体癌	下線部を追加	…発生する癌である。 <u>以前は</u> 子宮癌全体の5%程度…
323	下から12	b. 統合失調症	下線部を追加	b. <u>統合失調症 (旧称: 精神分裂病)</u> …
324	13	c. うつ病	<u>うつ病は、統合失調症と対置される2大精神疾患の一つであり</u> 、…	<u>うつ病は、統合失調症とともに2大精神疾患の一つであり</u> 、…
	下から12~11		… <u>睡眠障害</u> 、 <u>以上9つのうち5つ以上の症状が2週間以上</u> 、…	… <u>睡眠障害</u> の9つのうち、 <u>5つ以上の症状が2週間以上</u> 、…

324	下から 8	c. うつ病	下線部を追加	…患者本人だけでなく、 <u>発病前</u> の その人
325	下から 13	a. 心身症	心身症とは身体疾患の <u>なかで、</u> その 発症や経過に心理社会的因子 が…	心身症とは、 <u>身体疾患</u> の発症や 経過に心理社会的因子が…
325	下から 1		…また、しばしば症候は <u>移動</u> する.	…また、しばしば症候は <u>変化</u> する.
326	下から 3	c. 神経性過食症	下線部を追加	繰り返してむちゃ食いする状態 で <u>ある</u> . …